

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れの評価を行う。1つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えてくべきか等についての評価方針とする。

もう1つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設等が十分に利用されているものとなっているか、または逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているかなどの評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。作業のフローは図 7.1-1 に示すとおりである。

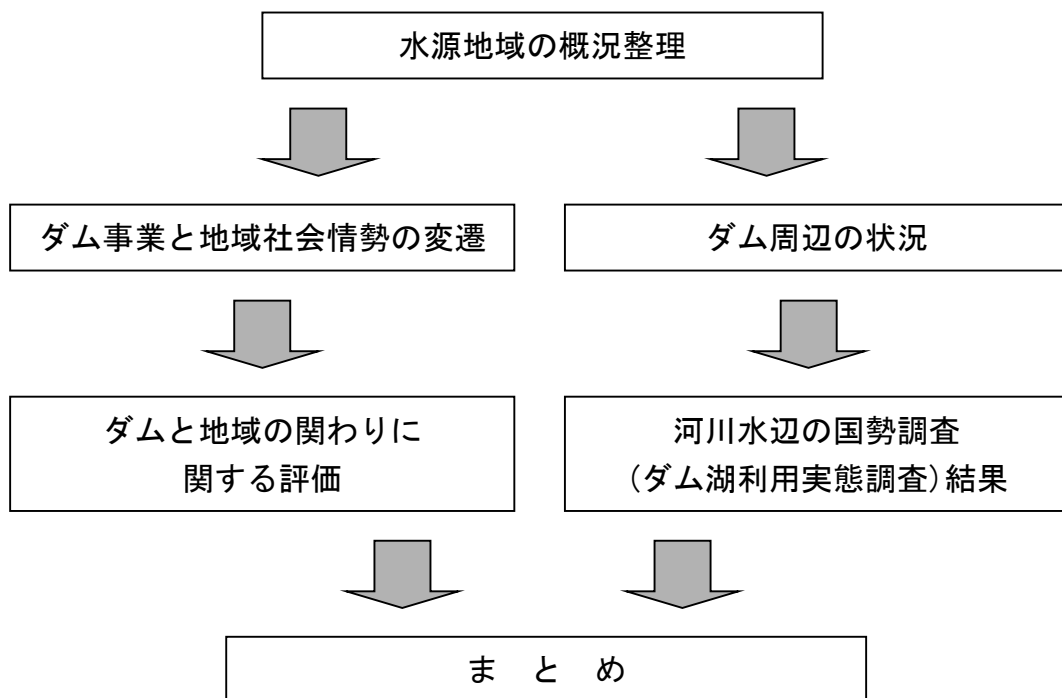


図 7.1-1 評価手順

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握・整理する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わり

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。

さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近 5 年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は、「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等について整理する。また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設（環境整備）の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 自然

布目ダムは、淀川総合開発計画の一環として、木津川支川布目川に建設された多目的ダムで、集水面積は75km²である。

布目ダム周辺一帯は、400m 前後の山が連なる大和高原地帯である。この地域では、なだらかな山の斜面を利用して、お茶の栽培が盛んに行われている。

流域には、山林や水田、茶畑が広がり、複数のゴルフ場も営業しており、面積としては、山林、水田に次いで3番目の広さである。

(2) 布目ダム流域に含まれる市村

布目ダムの流域は、奈良県の奈良市、天理市、山添村、宇陀市の3市1村にまたがる。中でも奈良市、天理市、山添村は、布目ダム流域が各市村面積の約2割を占める。

流域内では、約6割が奈良市域であり、山添村域、天理市域が各々約2割となっている。宇陀市域は1割に満たない。

表 7.2-1 布目ダム流域市町村の面積及び流域面積

	市町村面積 (km ²)	布目ダム流域面積 (km ²)	市町村に占める流域の割合 (%)
奈良市	276.94	44.47	16.06
山添村	66.53	13.27	19.95
天理市	86.42	16.97	19.64
宇陀市	247.50	0.29	0.12
合計	677.39	75.00	—

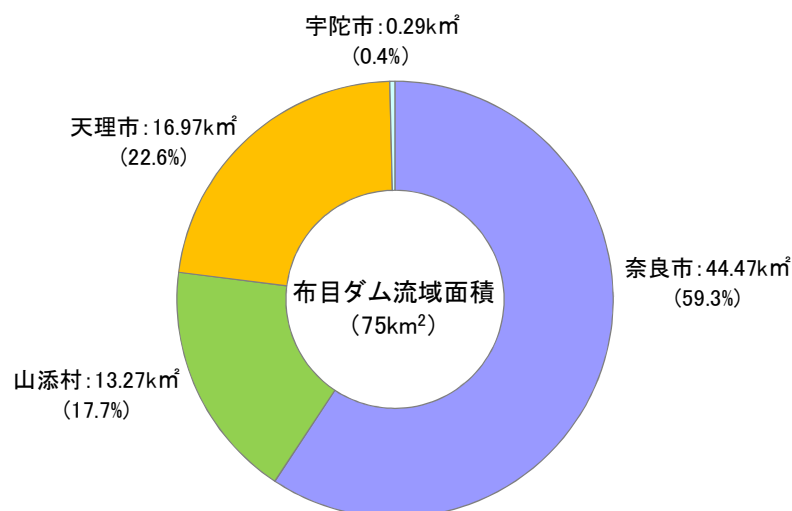


図 7.2-1 布目ダム流域市町村の面積及び流域面積

【出典：国土交通省国土地理院「令和4年全国都道府県市区町村別面積調」】

(3) 水源地域の人口動態

布目ダム流域関連自治体の人口・世帯数の推移を表 7.2-2 及び図 7.2-2 に示す。流域では奈良市の人口が最も多く、次いで、天理市、山添村の順である。奈良市の人口は昭和年代には増加傾向にあったが、平成7年をピークに、以降は減少が続いている。

また、山添村と天理市は昭和55年から減少傾向が続いている。

一方で、流域関連自治体の世帯数は昭和60年以降増加傾向になっている。

表 7.2-2 布目ダム流域関連自治体の人口・世帯数推移 (S60~R2)

布目ダム流域関連市村 人口 (単位：人)

市村名	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
奈良市	333,332	355,094	366,024	372,982	370,102	366,591	360,310	354,630
山添村	5,933	5,773	5,420	4,967	4,595	4,107	3,674	3,226
天理市	69,129	68,815	74,188	72,741	71,152	69,178	67,398	63,889
合計	408,394	429,682	445,632	450,690	445,849	439,876	431,382	421,745

布目ダム流域関連市村 世帯数 (単位：世帯)

市村名	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
奈良市	102,092	114,322	125,502	134,924	140,157	147,421	148,920	155,305
山添村	1,300	1,296	1,288	1,236	1,233	1,196	1,144	1,110
天理市	19,874	20,978	24,441	24,550	24,682	25,396	25,810	25,619
合計	123,266	136,596	151,231	160,710	166,072	174,013	175,874	182,034

【出典：各年の国勢調査結果による】

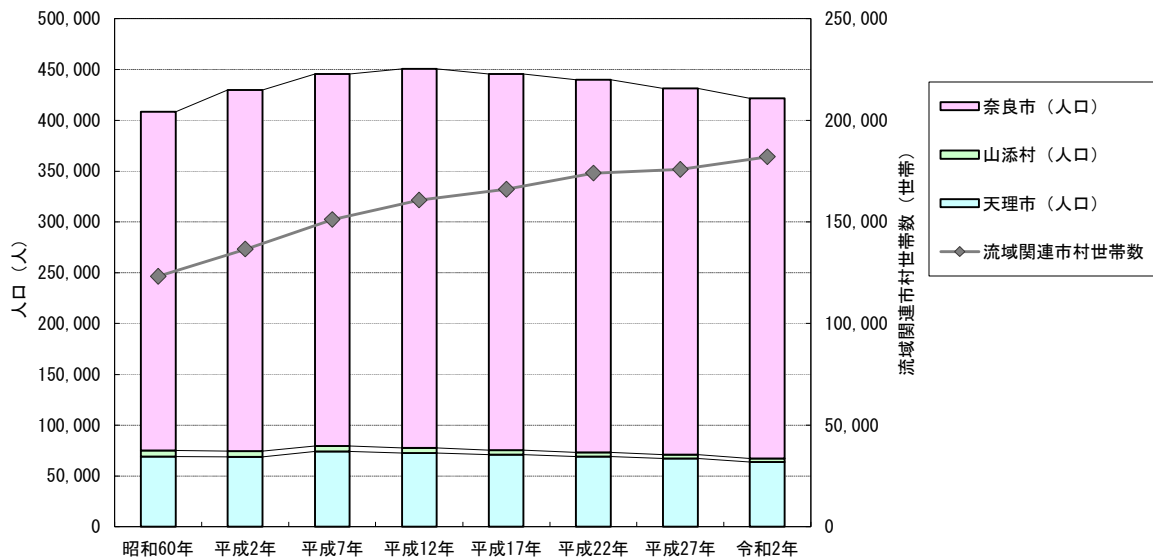


図 7.2-2 布目ダム流域関連自治体の人口・世帯数推移 (S60~R2)

【出典：各年の国勢調査結果による】

(4) 産業別就業者数

布目ダム流域関連自治体の就業者数推移を、表 7.2-3 及び図 7.2-3、図 7.2-4 に示す。全体としては、第2次・第3次産業に従事する就業者の割合が多い。

表 7.2-3 布目ダム流域関連市村における就業者数推移(S55~R2) (単位：人)

市区町村名	分類	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
奈良市	第1次産業	5,910	4,999	3,748	3,521	2,738	3,134	2,244	2,308	1,986
	第2次産業	33,915	37,287	41,074	41,837	39,257	32,551	28,515	27,796	25,566
	第3次産業	87,399	98,889	111,471	121,007	121,620	125,648	118,691	119,229	120,304
	その他(分類不能)	276	2,036	2,452	3,109	4,757	3,543	8,994	5,756	4,824
山添村	第1次産業	1,456	1,254	956	752	453	498	419	382	271
	第2次産業	748	811	884	852	760	664	602	513	478
	第3次産業	996	1,112	1,161	1,256	1,204	1,237	1,080	972	872
	その他(分類不能)	5	16	1	23	128	18	27	0	77
天理市	第1次産業	3,905	3,322	2,761	2,503	2,162	2,025	1,482	1,289	739
	第2次産業	7,496	8,518	9,088	10,690	9,275	7,493	5,888	6,232	4,383
	第3次産業	16,778	18,494	19,915	22,278	22,642	22,464	21,011	21,796	10,616
	その他(分類不能)	128	73	53	128	258	520	1,372	1,136	604
合計	第1次産業	11,271	9,575	7,465	6,776	5,353	5,657	4,145	3,979	2,996
	第2次産業	42,159	46,616	51,046	53,379	49,292	40,708	35,005	34,541	30,427
	第3次産業	105,173	118,495	132,547	144,541	145,466	149,349	140,782	141,997	131,792
	その他(分類不能)	409	2,125	2,506	3,260	5,143	4,081	10,393	6,892	5,505

【出典：各年の国勢調査結果】

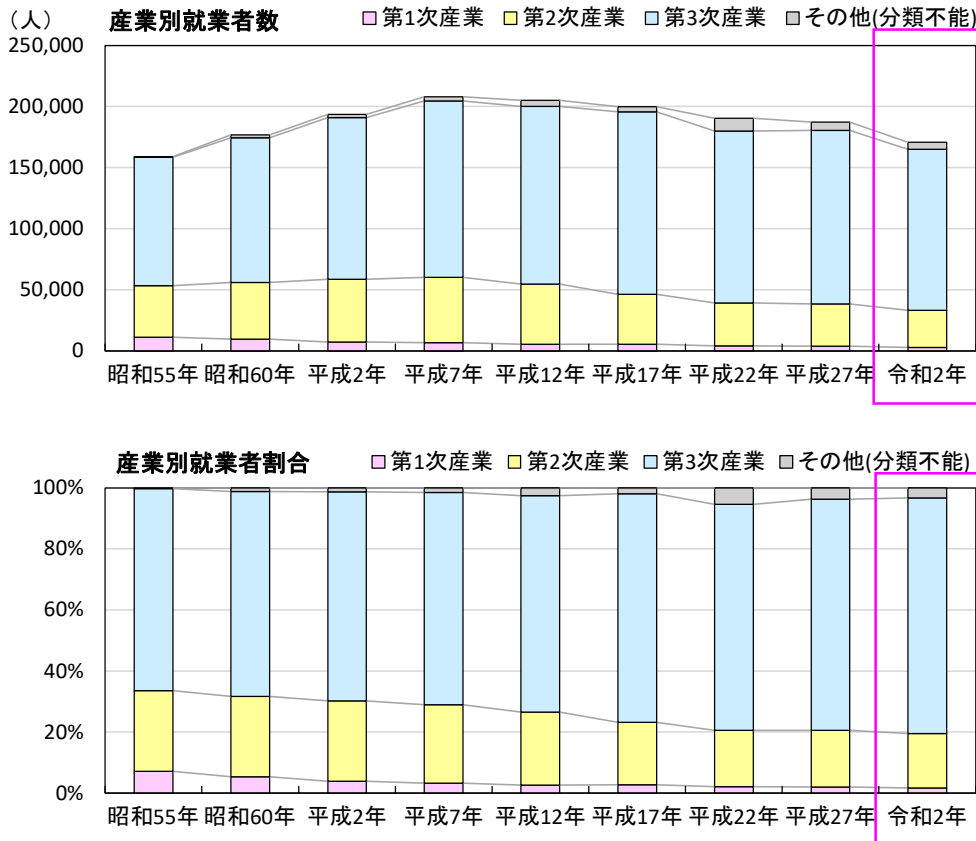


図 7.2-3 布目ダム流域関連市村における就業者数、割合の推移 (S55~R2・流域全体)

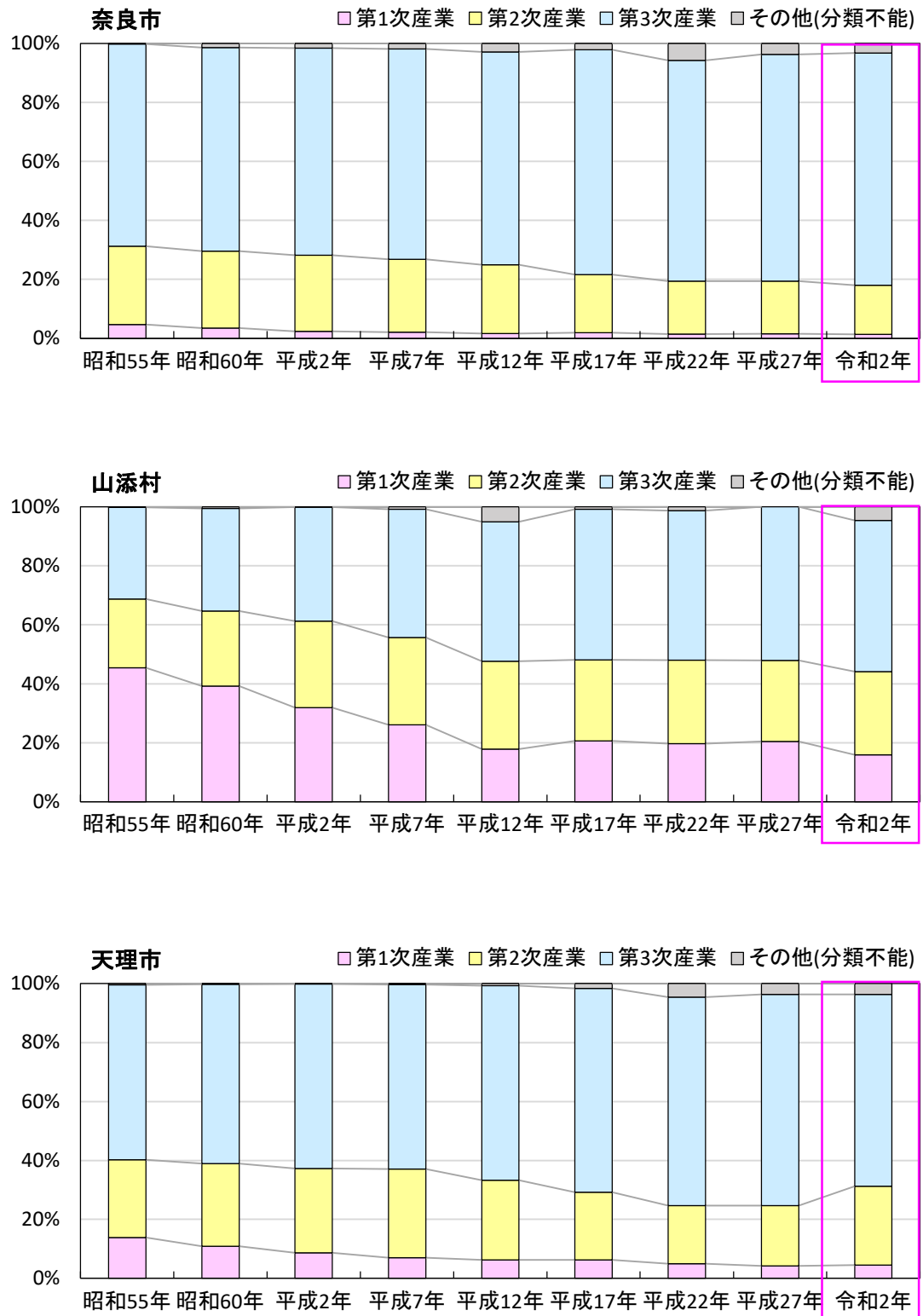
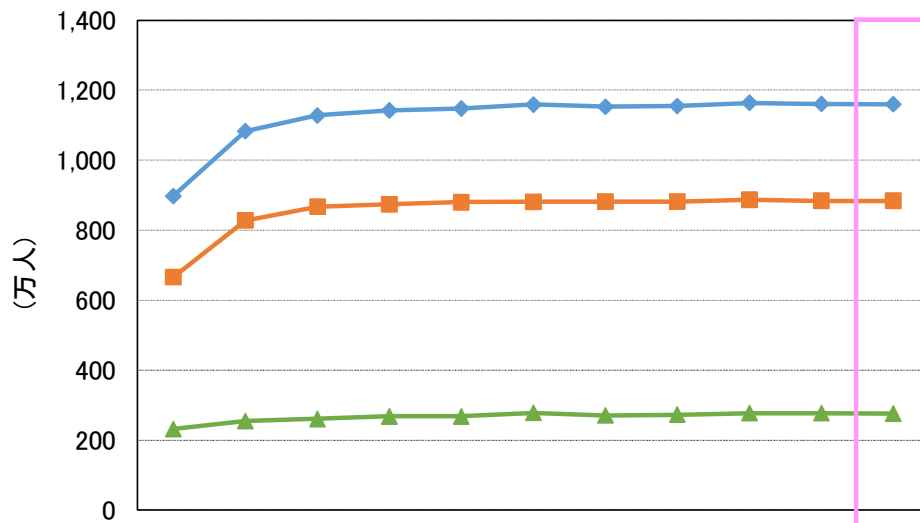


図 7.2-4 布目ダム流域関連市村における就業者割合の推移 (S55~R2・市村別)

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川流域の人口は、図 7.2-5 に示すとおり、昭和 40 年から 50 年までの 10 年間で約 185 万人の増加があり、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。令和 2 年時点の人口は約 1,160 万人となっており、昭和 40 年と比較して、129%の増減率となっている。

淀川下流域 (阪神地区)	大阪府	
	兵庫県 (他 5 市)	神戸市、尼崎市、伊丹市 西宮市、芦屋市



	S40	S50	S60	H2	H7	H12	H14	H17	H22	H27	R2	増減率
◆ 阪神地区	898	1,083	1,128	1,142	1,148	1,159	1,153	1,155	1,164	1,161	1,160	129.2%
■ 大阪府	666	828	867	874	880	881	882	882	887	884	884	132.7%
▲ 他5市	232	255	261	268	268	278	271	273	277	277	276	119.1%

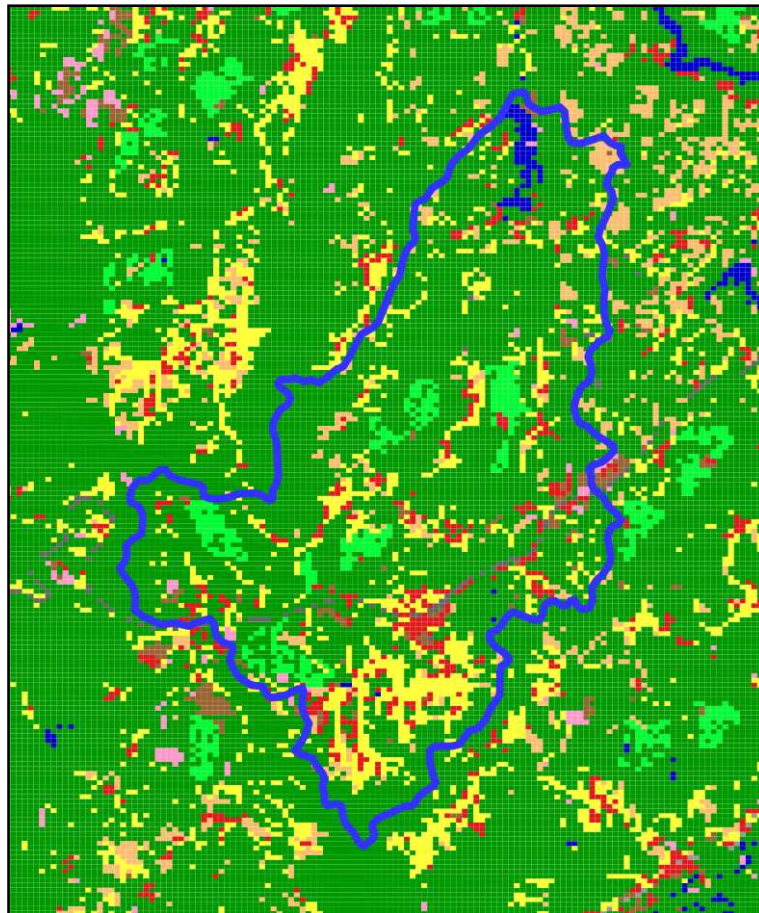
【出典：国勢調査

※増減率は、昭和 40 年に対する令和 2 年の変動率を示す】。

図 7.2-5 淀川下流域の人口の推移

(6) 土地利用

布目ダム流域内における土地利用状況は、図 7.2-6 に示すとおりである。流域内の土地の利用割合は、森林が約 70%、田約 12%、その他農用地約 4%、ゴルフ場約 5%、建物用地約 6%となっており、市街地等の開発は進んでいないが、流域上流部の名阪国道沿いでは、住宅・ゴルフ場も点在する。



【出典：国土交通省 国土政策局 国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ
平成 28 年度 土地利用 100mメッシュデータ】

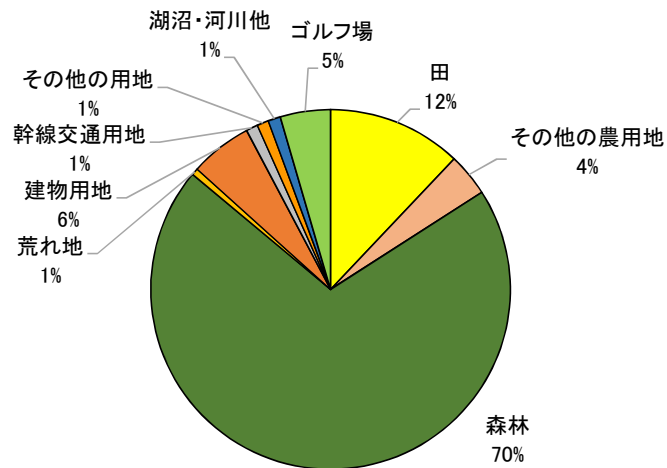


図 7.2-6 布目ダム流域内における土地利用

7.2.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

布目ダムは大和高原（300～600m）北部地域に位置している。奈良・大阪・京都などの都市部から40分～90分の位置にあり、日帰りレクリエーション圏内にある。



【出典：布目ダムHP】

図 7.2-7 周辺都市からの交通網

(2) ダム周辺の観光施設等

布目ダム周辺の観光施設等を図 7.2-8 に示す。近隣には、神野山、月ヶ瀬梅林など自然的景観をセールスポイントにした観光レクリエーションがある。また、釣りやサイクリングの利用が多く、特に奈良市はサイクリングが盛んな地域でもある。流域及び周辺にはゴルフ場も多く存在する。

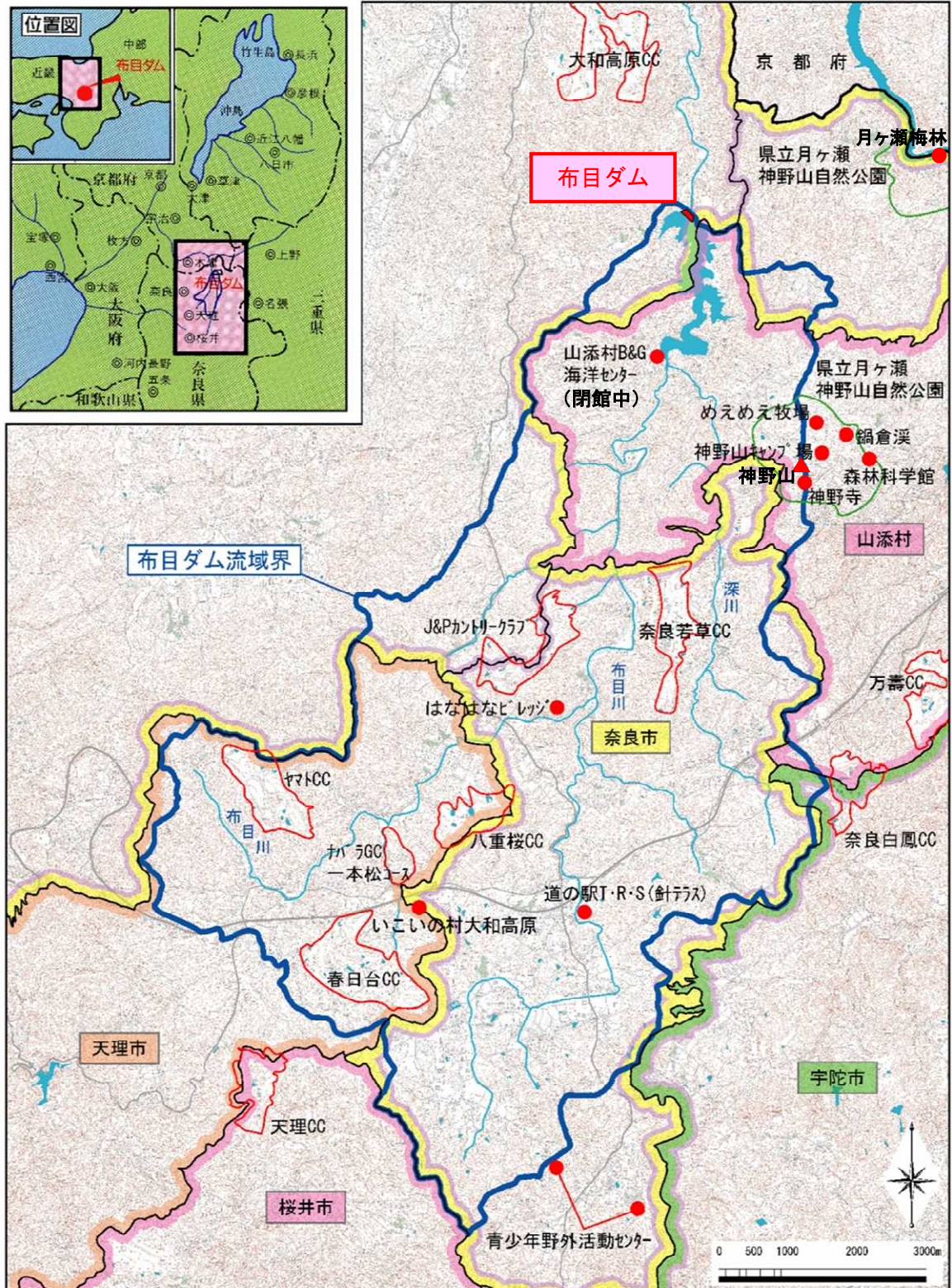


図 7.2-8 布目ダム流域及び周辺の主な観光施設等位置図

表 7.2-4 布目ダム周辺の観光施設

種別	施設名称等	概要	備考
公園	県立月ヶ瀬神野山自然公園	昭和50年7月に奈良県立自然公園として指定。大和高原の東北部に位置し、月ヶ瀬は梅の名所として、神野山は大和高原の代表的な山として、またツツジの名所として親しまれている。布目ダム流域内に位置する神野山は、標高618.8mであり、北東山腹に「鍋倉溪」(県天然記念物)、南西山腹に「神野寺」、北山腹に「めえめえ牧場」が立地し、その他「森林科学館」やキャンプ施設が分布している。	
キャンプ場	青少年野外活動センター	学校や各種青少年団体の自然体験・野外教育活動の場として設立。家族単位でのキャンプ生活の場としても開放されている。	
	いこいの村大和高原	宿泊施設、テニスコート、多目的広場、ローラースケート場等が整備されている。	
	はなはなビレッジ	森林浴、釣り、体験農園、ログハウスでのキャンプ等が楽しめる。	
ゴルフ場	奈良白鳳カントリークラブ	開場日：1976. 6. 10 面積：約1,089,000m ²	ダム流域外
	万壽ゴルフクラブ	開場日：1987. 9. 15 面積：約1,160,000m ²	ダム流域外
	奈良若草カントリー倶楽部	開場日：1990. 11. 13 面積：約1,570,000m ²	
	奈良O.G.Mゴルフクラブ	開場日：1974. 10. 29 面積：約1,650,000m ²	
	大和高原カントリークラブ	開場日：2001. 9. 1 面積：約2,180,000m ²	ダム流域外
	ヤマトカントリークラブ	開場日：1975. 8. 1 面積：約1,450,000m ²	
	ナパラGC一本松コース	開場日：1998. 4. 18 面積：約 405,000m ²	
	春日台カントリークラブ	開場日：1961. 11. 3 面積：約1,650,000m ²	
	天理ゴルフ倶楽部	開場日：1968. 4. 18 面積：約1,155,000m ²	ダム流域外
八重桜カントリークラブ	開場日：1976. 4. 25 面積：約1,000,000m ²		
その他	道の駅 T・R・S(針テラス)	名阪国道と国道369号が交差する針I.Cに位置する。道の駅としては、日本初のPFI事業により完成。飲食、温泉、生鮮品・加工品の販売、観光イチゴ園、ショッピング街等があり、観光、道路状況等の各種情報をリアルタイムに提供している。	
	山添村B&G海洋センター	ヨットやカヌー等の海洋性スポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設。	休館中
	花香房	山添村の物産品販売やイベントを実施	
	冒険の森inやまぞえ	大人も楽しめる本格的なフィールドアスレチック	

【出典：

奈良県景観・自然環境課 HP <http://www.pref.nara.jp/3012.htm>奈良県青少年・社会活動推進課 HP <http://www.pref.nara.jp/31607.htm>一般財団法人 奈良県ビクターズビューロー http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/019film_c-nara/1004001/山添村観光協会 HP <http://www.yamazoekanko.jp>奈良商工会館連合会 HP <http://www.shokoren-nara.or.jp/>株式会社ラウンドクオリティ HP <http://54.249.43.100/gpg/index.do>道の駅針テラス HP <http://hari-trs.com/>】

(3) 文化財等

布目ダム周辺には、国指定を受けている名勝月ヶ瀬梅林(旧月ヶ瀬村)をはじめ、国指定(重文)天神社本殿(山添村)や、県指定の石打城址(旧月ヶ瀬村)等、多くの文化財がある。表 7.2-5 に布目ダム流域内における文化財を示す。

表 7.2-5 布目ダム流域内文化財一覧

市町村名	指定	指定種別	名 称
山添村	国	建造物	天神社本殿
		彫刻	銅造菩薩半跏像(伝如意輪観音像)
	県	彫刻	能面
		無形民俗文化財	東山の神事芸能
		名勝・天然記念物	神野山
		天然記念物	神野寺境内の二次林
奈良市	国	建造物	丹生神社本殿
		建造物	都祁水分神社本殿
		建造物	来迎寺宝塔
		彫刻	木造善導大師坐像
		彫刻	木造菩薩立像(伝聖観音像)
		無形民俗文化財	題目立
		史跡	小治田安萬呂墓
	県	彫刻	能面(丹生神社)
		彫刻	木造阿弥陀如来坐像
		有形民俗文化財	丹生神社題目立詞章残闕(「巖島」)
		絵画	絹本著色法華曼荼羅図
		工芸品	金銅装神輿(都祁水分神社)
		考古資料	古鏡
		史跡	三陵墓古墳群

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

布目ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を表7.3-1にて整理する。

表 7.3-1 ダム事業と地域社会の変化(年表) (1/3)

年代	布目ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)		
		奈良市(旧奈良市地域)	奈良市(旧都祁村地域)	山添村
M22				
M31		奈良市誕生		
S9		室戸台風		
S30			都祁村誕生	
S31				山添村誕生
S34		阪奈道路が開通	新庁舎落成	
		伊勢湾台風		
S36				役場庁舎完成
		第2室戸台風		
S37	淀川水系が水資源開発水系に指定			
S38				山添分校校舎完成
S40		名阪国道開通		
S41				
S43				
S44		市の人口20万人を突破		
S46	淀川水系工事実施基本計画改訂			山辺広域市町村圏指定
S47				山辺広域圏事業による ゴミ収集開始
S48				山辺広域消防組合山 添署業務開始
S49				
S50		市の人口25万人を突破		
S51	水質源開発基本計画の決定			
S54	事業実施方針の指示 布目ダム建設所開設			自然休養村管理センター完成
S55	事業実施計画の認可			
S56		市の人口30万人を突破		
S57				山添村ふるさとセンター
S58	付替道路着手 (月ヶ瀬～針線その2) 柳生地区補償基準請妥結 山添地区補償基準請妥結			総合スポーツセンター完成
S59		水道局庁舎完成		
S60				基幹集落センター完成
S61	ダム本体工事に着手			
S62	コンクリート打設開始			山添中学校開校 山添ふれあいまつり
S63				し尿処理センター稼働
H1	本体コンクリート打設完了			
H2	試験湛水開始			
H3	試験湛水終了 布目ダム竣功式	市の人口35万人を突破		山添ふれあいまつり 第1回やまぞえ布目ダム マラソン大会開催
H4	布目ダム管理業務開始		第1回「つげ祭り」開催	山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H5				歴史・民俗資料館開館 山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H7				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
		阪神・淡路大震災		
H8				「茶の里映山紅」 山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H9		第二阪奈道路開通		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H10				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会

	市町村誕生、合併等
	災害
	イベント、住民活動、交流活動
	交流施設、地域振興拠点等の開設

表 7.3-1 ダム事業と地域社会の変化(年表) (2/3)

年代	布目ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)		
		奈良市(旧奈良市地域)	奈良市(旧都祁村地域)	山添村
H11	比奈知ダム管理開始			山添ふれあいまつり
H13				やまぞえ布目ダムマラソン大会
H14				やまぞえ小学校開校 山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H15		東部地域等水道整備事業竣工		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
H16			針テラス開設	山添ふれあいまつり
		奈良市・月ヶ瀬村・都祁村 合併協定調印式		やまぞえ布目ダムマラソン大会
H17		奈良市・月ヶ瀬村・都祁村 合併(合併記念式典開催)		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H18		平成遷都1300年記念事業実施計画策定		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
		近鉄けいはんな線開通		布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H19				山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H20		「グリーンサポート制度」開始		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H21		なら100年会館開館10周年記念事業		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H22		平成遷都1300年記念事業		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会
		第1回奈良マラソン		布目湖釣り大会(全国釣り大会)
		全国釣り大会奈良大会		布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H23		第2回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H24		第3回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H25		第4回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H26		第5回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H27		第6回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H28		第7回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン

	市町村誕生、合併等
	災害
	イベント、住民活動、交流活動
	交流施設、地域振興拠点等の開設

【出典:布目ダム工事誌、奈良市 HP、都祁村勢要覧 P11、山添村村勢要覧 P28、平成 29 年度布目ダム定期報告書】

表 7.3-1 ダム事業と地域社会の変化(年表) (3/3)

年代	布目ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)		
		奈良市(旧奈良市地域)	奈良市(旧都祁村地域)	山添村
H29		第8回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
H30		第9回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
R1		第10回奈良マラソン		山添ふれあいまつり やまぞえ布目ダムマラソン大会 布目湖釣り大会 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
R2		第11回奈良マラソン ※		山添ふれあいまつり ※ やまぞえ布目ダムマラソン大会 ※ 布目湖釣り大会 ※ 布目ダム周辺クリーンキャンペーン
R3		第12回奈良マラソン		やまぞえ布目ダムマラソン大会 ※ 布目湖釣り大会 ※ 布目ダム周辺クリーンキャンペーン

※新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止

市町村誕生、合併等
災害
イベント、住民活動、交流活動
交流施設、地域振興拠点等の開設

【出典:布目ダム工事誌、奈良市 HP、都祁村勢要覧 P11、山添村村勢要覧 P28、平成 29 年度布目ダム定期報告書】

7.4 ダムと地域の関わり

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

布目ダムは布目川・木津川・淀川の「洪水調節」、奈良盆地一帯を潤す「水道用水」、および「流水の正常な機能の維持」の3つの目的をもつ多目的ダムである。

一方、近年においてはこのような従来の目的に加え、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り、流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることが求められている。

このため、国土交通省では国管理ダム、水資源開発公団（現水資源機構）ダムを対象に、地域ごとにダム水源地の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとし、布目ダムでは地元住民や関係機関等が共同して「布目ダム水源地域ビジョン」を検討、平成14年3月に策定した。

「布目ダム水源地域ビジョン」は、

“ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”

として、ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

なお、対象範囲は、図7.4-1に示す、布目ダムとの係わりが強い地域である。

○山添村の全域 ○都祁村(現奈良市)の全域 ○奈良市域の布目川流域

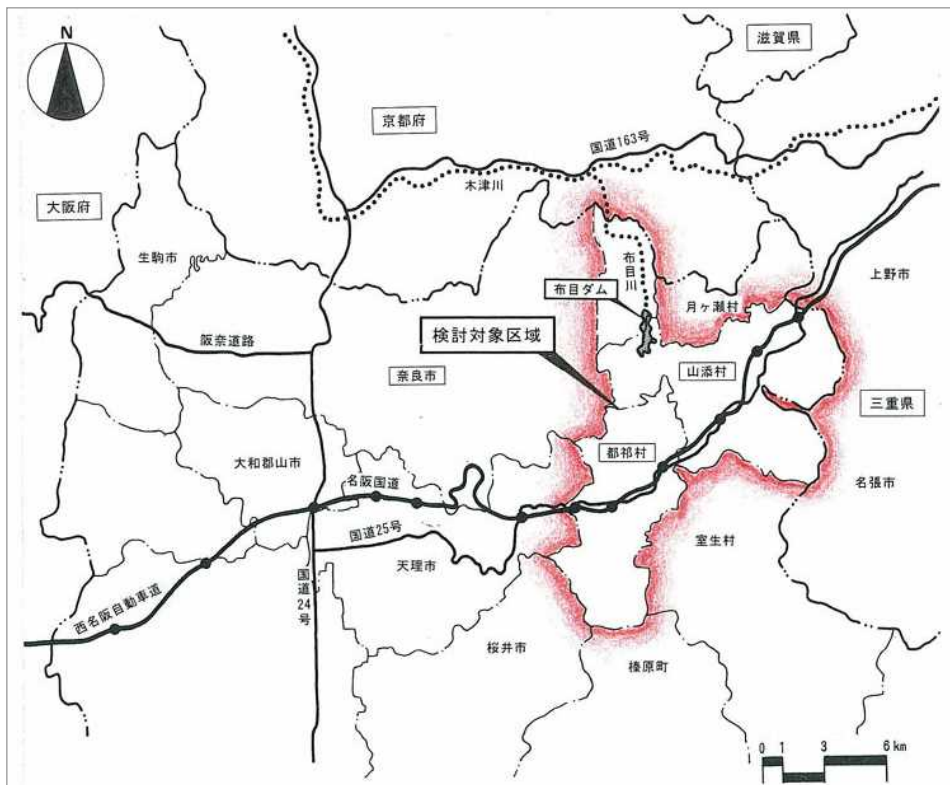


図 7.4-1 布目ダム水源地域ビジョンの対象範囲

【出典:布目ダム水源地域ビジョン、平成14年3月】

(1) 布目ダム流域全体の目標像

①活性化に向けた地域全体の目標像

多彩なネットワークで結ばれる魅力豊かな地域資源を拠点に、
地域住民が生き生きと活動する水源地域の形成

- ・ 魅力度の高い様々な地域資源が立地する水源地域
- ・ 多彩な地域ネットワークが形成される水源地域
- ・ 水を軸に地域住民の積極的な活動が行われる水源地域

布目ダム水源地域ビジョンでは、地域活性化に向けた基本的な考え方や基本方針から布目ダム水源地域全体の目標像の実現に向けて布目ダムが担うべき役割を検討整理し、以下の4点に集約し、布目ダム及びダム湖を活用した地域活性化方策である水源地域ビジョンのキャッチフレーズと内容を策定した。

②布目ダムの位置づけや担うべき役割

・ 湖面を活用した地域のレクリエーション空間

布目ダムが有する湖面利用に適した水面や、質の高い既存施設等を積極的に活用し、地域における湖面利用が図れる快適なレクリエーション空間としての役割を担うことが求められる。

・ 水資源に関する学習の場

地域の水がめとしての役割をもつ布目ダムは、水資源に関する学習の場に適しており、ダム堤体や貯水池周辺のダム管理施設等を活用することで水資源に関する学習拠点としての高いポテンシャルを有している。

・ 地域活動の場

現在の布目ダム周辺では、様々なイベントや地元住民による活動等が行われている。今後はそれらの活動や取り組みを継続し、さらに活性化させる地域活動の場としての役割を担うことが求められている。

・ 清らかな水質を有する水源地

広い範囲に上水道用水を供給する布目ダムにおいては、将来にわたってその機能を保持するために、また、上記の機能を高めるために、清らかな水質の保全や改善を行う場としての役割を担うことが求められる。



図 7.4-2 布目ダム水源地域ビジョンのキャッチフレーズと内容

7.4.2 地域とダム管理者の関わり

(1) 「布目ダム水源地域ビジョン」の概要

布目ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、以下に示す関係諸機関によって構成される「布目ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行った。なお、同組織は緩やかな組織として規約を設けずにビジョンの検討、策定にあたった。

- ・学識経験者・・・・・・・・・・京都大学教授
- ・周辺住民・・・・・・・・・・布目ダム周辺地域開発協会
- ・水源地域及び下流自治体・・・山添村、都祁村（現奈良市）、奈良市
- ・ダム管理者・・・・・・・・・・水資源開発公団（現水資源機構）
- ・関係行政機関・・・・・・・・・・国土交通省近畿地方整備局、奈良県

また、具体的な検討作業は、下部組織である「布目ダム水源地域ビジョン策定連絡会」において行った。布目ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、表 7.4-1 に示すように連絡会3回（平成13年10月17日、12月26日、平成14年1月31日）、策定会議1回（平成14年3月5日）を開催し、各々の審議・検討項目に沿って検討を進め、平成14年3月5日の策定会議において「布目ダム水源地域ビジョン」を策定した。

このとき策定した「布目ダム水源地域ビジョン」の概要を図 7.4-2 に示す。

平成14年7月の布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会開催から、令和3年9月まで計24回の実行連絡会を開催した。なお、この間、平成17年度開催時に、都祁村と奈良市の合併により構成機関としては1機関の減となっているが、奈良市・都祁行政センターという形で実行連絡会には参加している。また、平成22年の実行連絡会において、奈良県サイクリング協会の新規加入が承認され、新たな広がりを見せている。

令和3年度時点の構成機関を表 7.4-2 に示す。

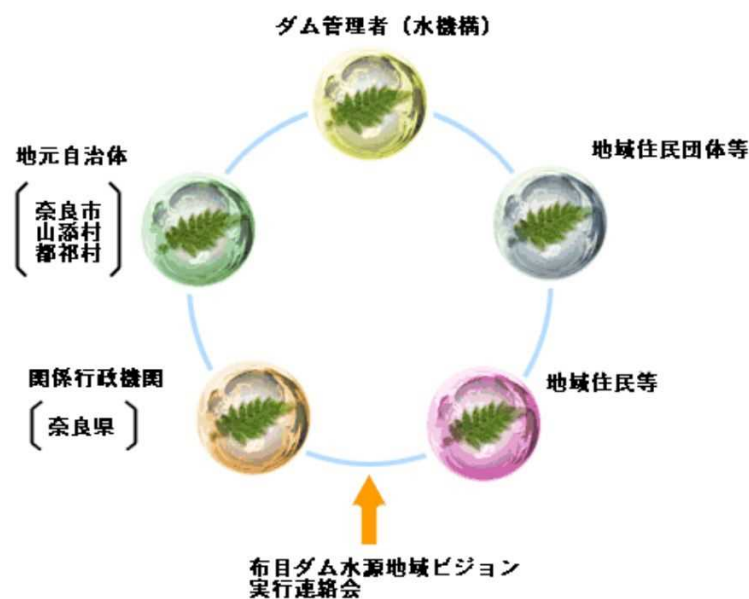


図 7.4-3 布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会のイメージ

表 7.4-1 布目ダム水源地域ビジョン策定経緯

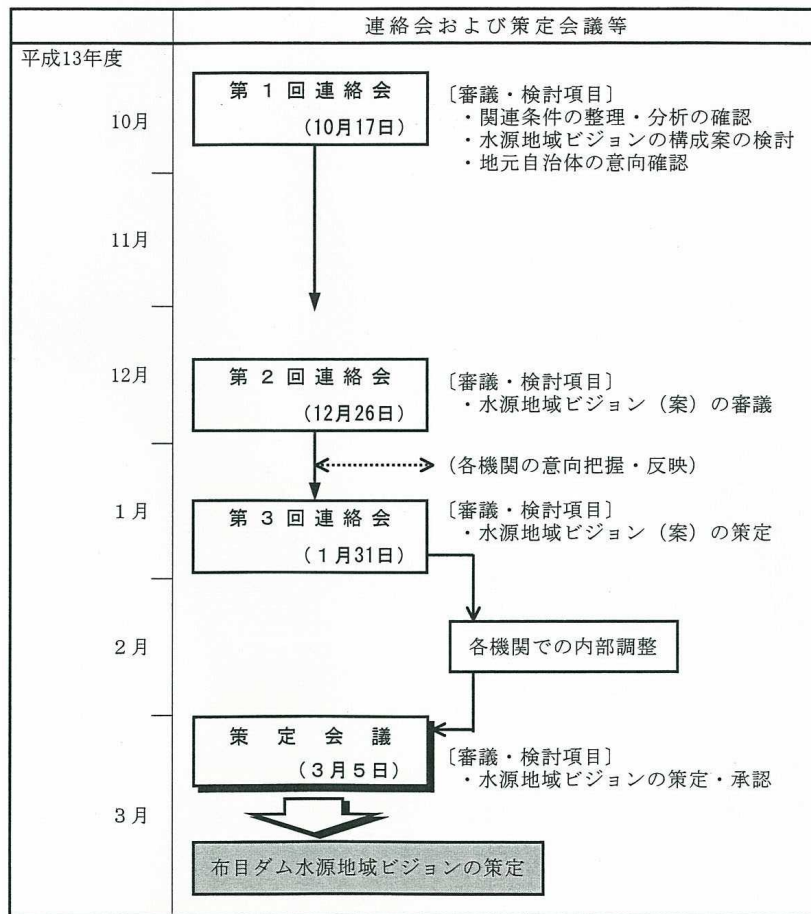


表 7.4-2 布目ダム水源地域ビジョン構成機関(令和3年度時点)

構成機関	担当部課等	備考
布目ダム周辺地域開発協会	理事長他	会長
山添村	地域振興課	
奈良市	総合政策部政策総合政策課 都祁行政センター業務課	
奈良県サイクリング協会	理事長	
布目川漁業協同組合	組合長	
奈良県	水循環・森林・景観環境部 水資源政策課	オブザーバー
国土交通省近畿地方整備局	木津川上流河川事務所調査課 淀川ダム統合管理事務所防災情報課	オブザーバー
独立行政法人水資源機構	関西・吉野川支社淀川本部 利水者サービス課	オブザーバー
	木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所	事務局

出典：布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会会則(令和2年9月9日改正)

《布目ダム水源地域ビジョン》

布目ダム水源地域ビジョンのまとめ

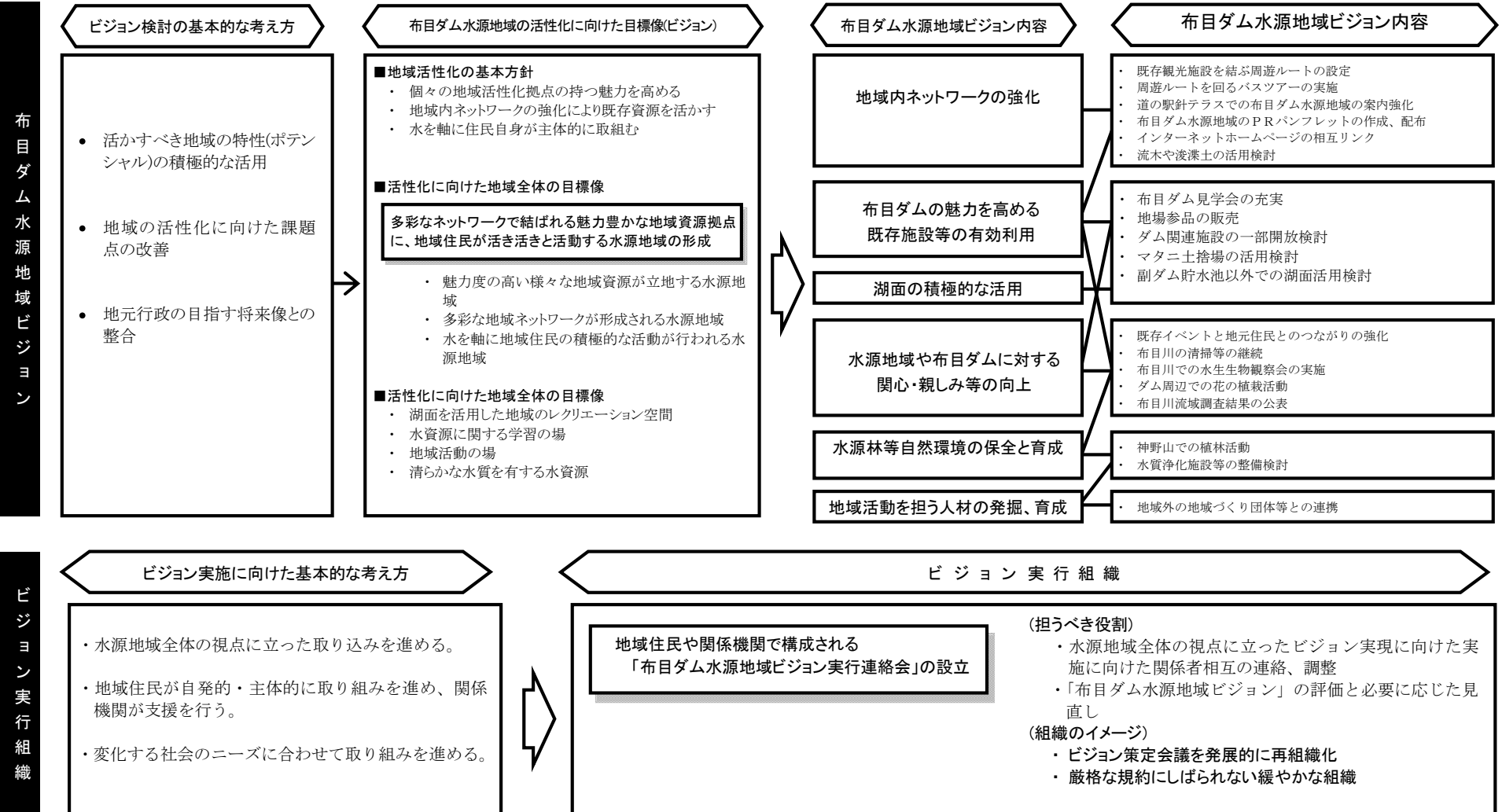


図 7.4-4 布目ダム水源地域ビジョンの概要

(2) 水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況

表 7.4-3 に直近 10 ヶ年の布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会の実施状況を示す。

表 7.4-3 実行連絡会の実施状況

年度	日時	議 事
平成 24 年度	7 月 19 日	○平成 23 年度の活動報告、及び、平成 24 年度実行計画
平成 25 年度	7 月 17 日	○平成 24 年度の活動報告、及び、平成 25 年度実行計画
平成 26 年度	7 月 18 日	○平成 25 年度の活動報告、及び、平成 26 年度実行計画
	2 月 26 日	○布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会会則の改正について ○布目ダム水源地域ビジョンの評価・見直しについて ○布目ダム桐山地区釣棧橋に関する今後の対応について
平成 27 年度	7 月 30 日	○平成 26 年度報告及び平成 27 年度実行計画 ○布目ダム桐山地区における山添村が所有する釣棧橋の現状報告 及び今後の取扱いについて
	3 月 16 日	○布目ダム桐山地区における山添村が所有する釣棧橋の現状報告 ○その他連絡事項
平成 28 年度	7 月 15 日	○平成 27 年度報告及び平成 28 年度実行計画 ○布目ダム桐山地区における山添村が所有する釣棧橋の現状報告 及び今後の取扱いについて
平成 29 年度	7 月 31 日	○各機関からの実施状況及び実施計画の報告や意見交換等
平成 30 年度	7 月 31 日	○各機関からの実施状況及び実施計画の報告や意見交換等
令和元年度	8 月 27 日	○各機関からの実施状況及び実施計画の報告や意見交換等
令和 2 年度	9 月 9 日	○各機関からの実施状況及び実施計画の報告 (新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして、書面による説明を実施)
令和 3 年度	9 月 13 日	○各機関からの実施状況及び実施計画の報告 (新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みとして、書面による説明を実施)

(3) 水質保全に向けたダム管理者と地域の連携

①水質保全連絡会

布目ダム管理所と奈良市企業局間において、布目ダムにおける水質状況報告及び情報の交換等を行っている。

②布目・白砂川水質協議会

布目川、白砂川の水質汚濁を防止する目的で運営されている水質協議会では、流域内の6つのゴルフ場に対する農薬及び肥料の適正使用要請など、水質保全への取り組みを行っている。また、流域の現状を把握し、水質異変などを早期発見するために流域パトロールを実施している。パトロールには布目ダム管理所も参加し協力している。

その他、水源保全を呼びかけるパンフレットや下敷きを増刷し、小学生に配布して普及・啓発を行っている。

③布目ダム周辺クリーンキャンペーン

布目ダム周辺地域開発協会、山添村、「布目川を美しくする会」の主催により、布目ダム周辺クリーンキャンペーンが毎年実施されている。多数の周辺住民が参加する大規模なイベントであり、ダムへの流入負荷の軽減にも少なからず寄与している。



なお、クリーンキャンペーンを主催する「布目川を美しくする会」は平成9年4月に発足した活動団体で、布目川を美しくするために地域住民が力を合わせ、関係行政機関と連絡・協調を図りながら、水質保全のための啓発活動等を行っている。平成29年11月には、布目ダム流域の水環境の保全と環境の美化に貢献しているとして、ダム建設功績者表彰を受けた。

また、令和元年5月には、流域内の河川愛護や合意形成、地域の活性化に貢献している団体として、「布目ダム周辺地域開発協会」が公益社団法人日本河川協会の令和元年河川功労者表彰を受賞した。



(4) ダム管理者の地域に向けた活動等水源地域の活動・啓発活動

奈良市内の小学校の課外授業のため、平成 20 年度以降は布目ダムに年間 1,500 人以上の児童が見学を訪れ、布目ダムの役割や水の大切さなどを学んでいる。管理開始から令和 3 年度までの 30 年間で、延べ見学者数は約 57,000 人に達している。

見学者数の推移を見ると、平成 7 年をピークに減少傾向が続いていたが、平成 22 年度以降は微増に転じている。また、近年は奈良市内の小学校数が減少しているにもかかわらず、見学学校数は平成 22 年度以降増加傾向が見られ、奈良市内の小学校に占める布目ダム見学学校の割合は増加している。なお、年毎の見学者数の増減は、児童数の多い小学校の訪問の有無により生じている。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見学を中止している。

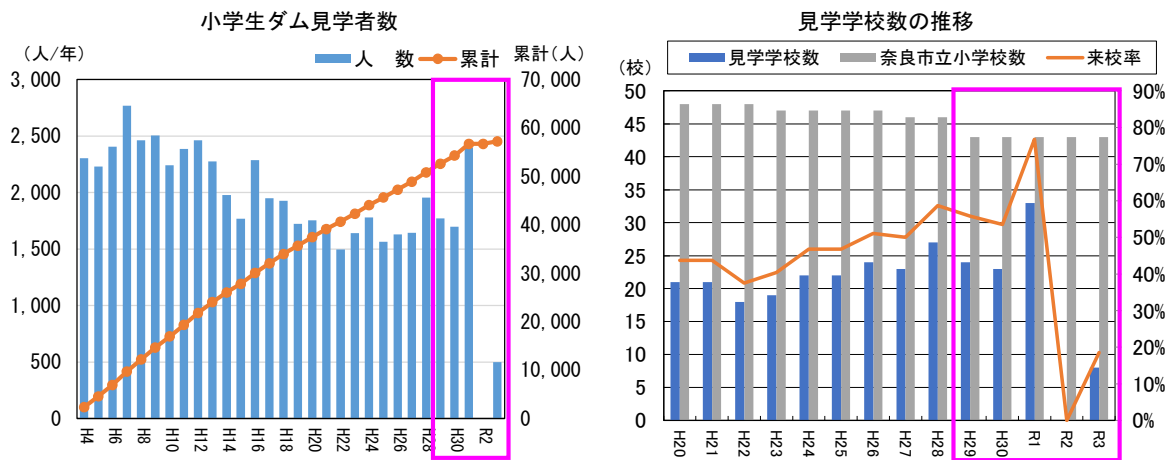


図 7.4-5 布目ダムの小学生見学者数および見学学校数の推移

表 7.4-4 布目ダムの小学生見学者数および見学学校数の推移

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
見学者人数	1,712	1,710	1,498	1,557	1,723	1,563	1,630	1,644	1,883	1,770	1,638	2,348	0	425
見学学校数	21	21	18	19	22	22	24	23	27	24	23	33	0	8
奈良市立小学校数	48	48	48	47	47	47	47	46	46	43	43	43	43	43
来校率	44%	44%	38%	40%	47%	47%	51%	50%	59%	56%	53%	77%	0%	19%



写真 布目ダム見学(課外授業)の様子

また、一般の方にダムの役割や機能を理解してもらうため、「奈良県山と川の月間」の期間に合わせて布目ダム見学会を毎年実施し、普段は入れないダムの中を見学してもらう機会を設けている。令和元年の布目ダム施設見学会では、ダム近隣の奈良市在住者を中心に246名が参加した。地域の団体（山添村、神野山観光協会、布目川を美しくする会、奈良県サイクリング協会、奈良県防災航空隊、奈良県警察署、奈良市消防局、近畿大学、奈良市企業局など）とも協働し、地域活性化、連携強化を図っている。

その他、地元で開催される祭りやマラソン大会等のイベント時にも展示スペースを設け、布目ダムの役割や水の大切さについて広報に努めている。



【出典：布目ダム管理所 HP 開催報告（令和元年7月24日）】

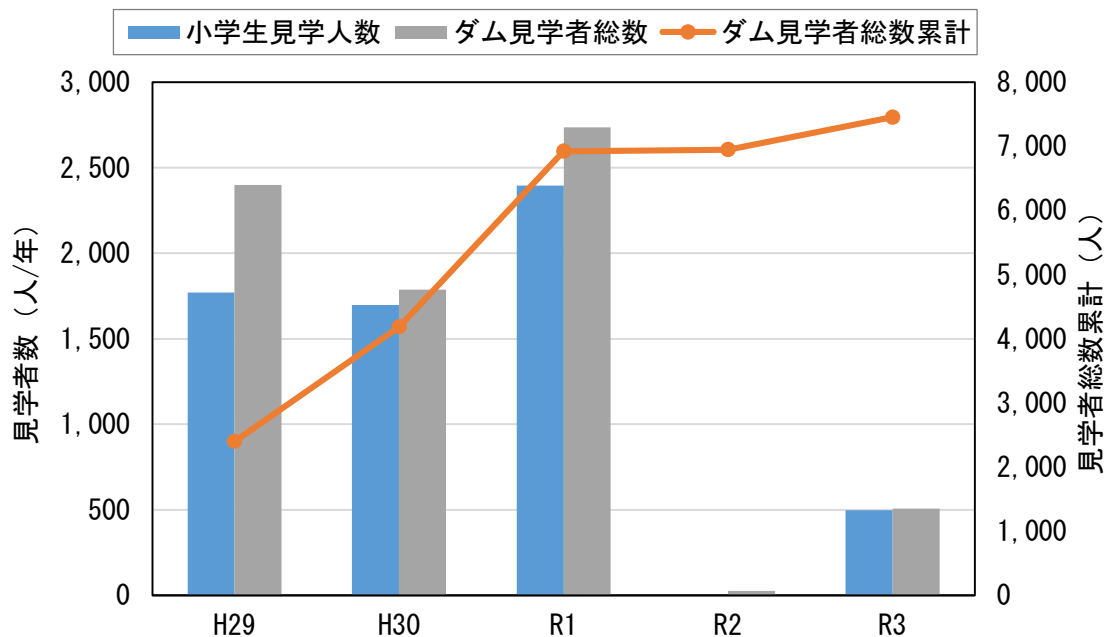


図 7.4-6 布目ダム見学者数の推移（平成29年～令和3年）

表 7.4-5 (1) 見学会等実施状況 (平成 29 年～平成 30 年)

年	開催日	団体名・参加人数等	活動内容	備考
平成29年	4月25日	帯解小学校	20	見学
	5月11日	大安寺小学校	62	見学
	5月12日	東登美ヶ丘小学校	145	見学
	5月16日	富雄北小学校	116	見学
		自然と文化の探検団	43	見学
	5月17日	椿井小学校	41	見学
	5月18日	辰市小学校	51	見学
		登美ヶ丘小学校	77	見学
	5月19日	伏見南小学校	67	見学
	5月22日	三碓小学校	145	見学
	5月23日	平城小学校	109	見学
	5月25日	鶴舞小学校	49	見学
	5月26日	済美南小学校	50	見学
	5月30日	伏見小学校	120	見学
		朱雀小学校	50	見学
	6月1日	大安寺西小学校	81	見学
		柳生小学校	11	見学
	6月2日	佐保川小学校	65	見学
	6月8日	神功小学校	33	見学
	6月9日	都跡小学校	99	見学
	6月9日	平城西小学校	84	見学
	6月12日	明治小学校	69	見学
	6月15日	左京小学校	60	見学
	6月16日	鳥見小学校	64	見学
	6月22日	飛鳥小学校	102	見学
	7月24日	ダム見学会	336	見学
	7月27日	豊橋開拓土地改良区	23	見学
	8月1日	水の週間親子ダム見学会	45	見学
	8月9日	川西町子どもセンター	38	見学
	8月20日	近畿文化会	30	見学
	10月15日	サイクルフェスタ	12	見学
	11月9日	淀川左岸水防事務組合	51	見学
	11月24日	淀川右岸水防事務組合	27	見学
平成30年	1月26日	ダムツアー	18	見学
	2月2日	奈良市企業局	7	見学
	4月20日	帯解小学校	19	見学
	5月2日	大宮小学校	97	見学
	5月11日	明治小学校	81	見学
		榛原東小学校	58	見学
	5月14日	富雄北小学校	119	見学
	5月15日	大安寺小学校	60	見学
	5月17日	伏見南小学校	57	見学
		済美南小学校	40	見学
	5月18日	東登美ヶ丘小学校	109	見学
	5月22日	平城小学校	112	見学
		登美ヶ丘小学校	70	見学
	5月24日	鶴舞小学校	55	見学
		二名小学校	74	見学
	5月25日	三碓小学校	118	見学
	5月29日	伏見小学校	122	見学
	5月31日	朱雀小学校	58	見学
	6月1日	佐保川小学校	61	見学
		柳生小学校	12	見学
	6月5日	左京小学校	51	見学
	6月7日	平城西小学校	62	見学
	6月8日	神功小学校	35	見学
	6月12日	都跡小学校	104	見学
	6月15日	鳥見小学校	71	見学
	7月4日	川上ダム周辺整備懇談会	18	見学
	8月7日	親子ダム見学会	48	見学
	10月12日	佐保台小学校	51	見学
	11月5日	JAM大阪 奈良地区労使会議 労使研修会	13	見学

表 7.4-5 (2) 見学会等実施状況 (令和元年~令和3年)

年	開催日	団体名・参加人数等	活動内容	備考
令和元年	2月1日	奈良市企業局	7	見学
	2月8日	近畿地整 河川環境課	5	見学
	4月18日	帯解小学校	28	見学
	5月10日	榛原東小学校	49	見学
	5月14日	椿井小学校	50	見学
		済美小学校	88	見学
	5月15日	大安寺小学校	52	見学
	5月16日	伏見南小学校	63	見学
	5月17日	東登美ヶ丘小学校	113	見学
		大宮小学校	97	見学
	5月20日	平城小学校	106	見学
	5月21日	辰市小学校	47	見学
		富雄第三小学校	78	見学
	5月22日	布目ダム放流連絡会	12	見学
	5月23日	鶴舞小学校	47	見学
	5月24日	富雄北小学校	91	見学
		佐保小学校	77	見学
	5月27日	伏見小学校	128	見学
		二名小学校	74	見学
	5月28日	青和小学校	101	見学
		済美南小学校	46	見学
	5月30日	大安寺西小学校	88	見学
		朱雀小学校	55	見学
	5月31日	三碓小学校	122	見学
		明治小学校	63	見学
	6月4日	左京小学校	59	見学
		柳生小学校	10	見学
	6月6日	佐保川小学校	58	見学
		登美ヶ丘小学校	88	見学
	6月7日	平城西小学校	76	見学
		鳥見小学校	90	見学
	6月11日	神功小学校	47	見学
	6月13日	富雄南小学校	100	見学
6月18日	都跡小学校	92	見学	
6月21日	都祁小学校	31	見学	
6月28日	飛鳥小学校	83	見学	
7月21日	ダム施設見学会(公称)	300	見学	
10月28日	みよし土地改良区	17	見学	
令和2年	1月31日	奈良市企業局 水道計画課	9	見学
	11月26日	定期検査視察会	17	見学
令和3年	1月29日	奈良市企業局	4	見学
	4月27日	川上ダム若手職員	8	見学
	5月11日	済美小学校	67	見学
	6月3日	柳生小学校	12	見学
	6月4日	明治小学校	69	見学
	6月30日	奈良女子大学附属小学校	73	見学
	7月1日	帯解小学校	24	見学
	10月21日	佐保川小学校	47	見学
	10月28日	朱雀小学校	51	見学
	10月29日	登美ヶ丘小学校	91	見学
	11月1日	伏見南小学校	64	見学

【出典：布目ダム 見学者集計表】

7.5 ダム周辺の状況

7.5.1 ダム周辺整備事業の状況

布目ダムが建設された大和高原北部地域は、神野山や月ヶ瀬梅林に代表されるように、高原地形の眺望、梅林、水と緑のオープンスペース等、自然的景観に依存した観光レクリエーション圏域を形成している。

布目ダムの周辺環境整備については、位置関係・距離等から考えて、これらの周辺地域の観光レクリエーションと関連させた整備計画は難しいことから、ダム周辺を周遊するパターンを基本として、ドライブ、サイクリング等による立ち寄りにも対応できる要素を取り入れている。

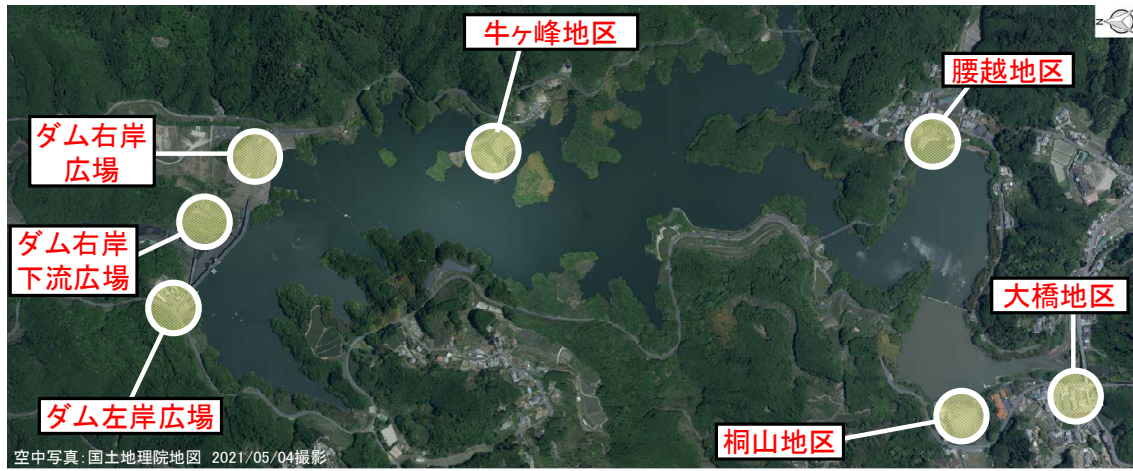
ダム周辺の整備内容は表 7.5-1 のとおりである。

表 7.5-1 ダム周辺環境整備内容

場所	面積	利用方法	環境整備の内容	管理主体
ダム左岸広場 (まほろば広場)	1,200m ²	ダムを訪れた人々への案内及び休憩眺望スペース	ブロック舗装、駐車場、パーゴラ、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、記念碑、トイレ、照明灯、植栽、案内施設	機構
ダム右岸広場 (まほろば広場)	10,000m ²	ダムを訪れた人々への案内及び休憩眺望スペース	ブロック舗装、駐車場、パーゴラ、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、記念碑、トイレ、照明灯、植栽、案内施設	機構
ダム右岸下流広場 (まほろば広場)	1,500m ²	ダムを訪れた人々のダムサイト展望、休憩眺望スペース	カラー舗装、駐車場、パーゴラ、東屋、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、案内施設	機構
牛ヶ峰地区 (コスモス公園)	16,000m ²	貯水池が展望できる休憩、散策スペース	カラー舗装、駐車場、パーゴラ、東屋、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、トイレ	山添村
腰越地区 (ふれあい広場)	4,100m ²	地元住民の憩いの場	ゲートボール場、駐車場、パーゴラ、シェルター、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽	山添村
大橋地区 (ほのぼの公園)	4,300m ²	上流端河川合流地点にある交通の要所、川辺に降りての休憩、親水スペース	親水護岸、駐車場、ベンチ、植栽	山添村
桐山地区 (さざなみ広場)	7,400m ²	副ダムによって形成された湖面に沿った親水スペース、地元山添村等により構成される第三セクターがキャンプ等の収益事業を実施、上盤の農村広場との複合利用	親水護岸、駐車場、パーゴラ、ベンチ、テーブル、水呑、くず入れ、灰皿、植栽、トイレ	山添村 第三セクター

※第三セクターは平成 25 年に解散

【出典：「布目技術解説書」、7章 貯水池の管理】



【出典: 「布目技術解説書」、7章 貯水池の管理】

図 7.5-1 ダム周辺環境整備 位置図



ダム左岸広場



ダム右岸下流広場



牛ヶ峰地区



腰越地区



大橋地区



桐山地区

図 7.5-2 ダム周辺環境整備の状況

7.5.2 ダム周辺施設の利用状況

布目ダム周辺における観光客入込数として、奈良県への観光客数の推移を図 7.5-3 及び図 7.5-4 に示す。

平成 29 年から令和元年でみると、奈良県には年間 4,400～4,500 万人程度の観光客が訪れている。エリア別の観光客数の推移をみると、布目ダム流域関連市村の奈良市、山添村を含む県北部エリアでは 1,500～1,600 万人、天理市を含む県東部エリアでは 1,700～1,800 万人で推移している。令和 2 年は新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が大きく減少している。

延べ観光客数推移【平成27年～令和2年】

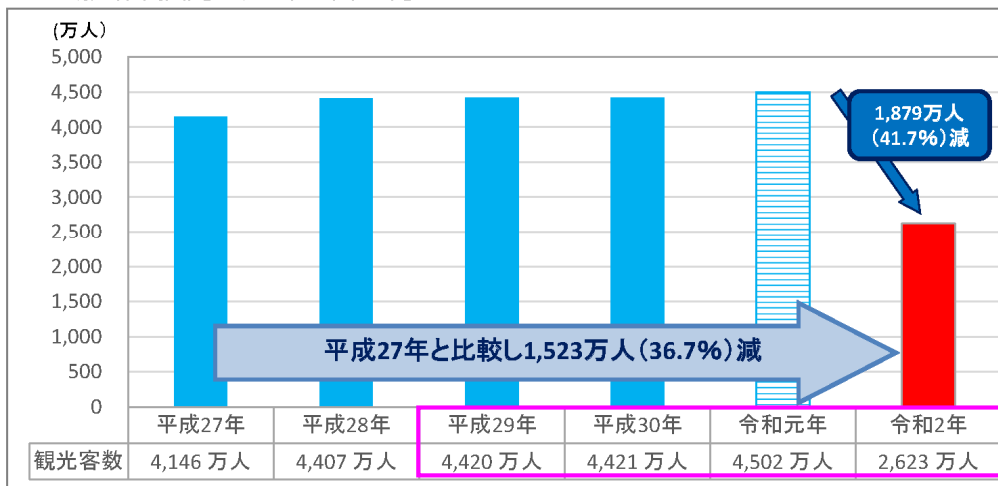


図 7.5-3 奈良県への観光客数（平成 27～令和 2 年）

【出典：「奈良県観光客動態調査報告書 令和 2 年」（奈良県地域振興部文化観光局観光振興課）】

エリア別観光客数の推移【平成27年～令和2年】

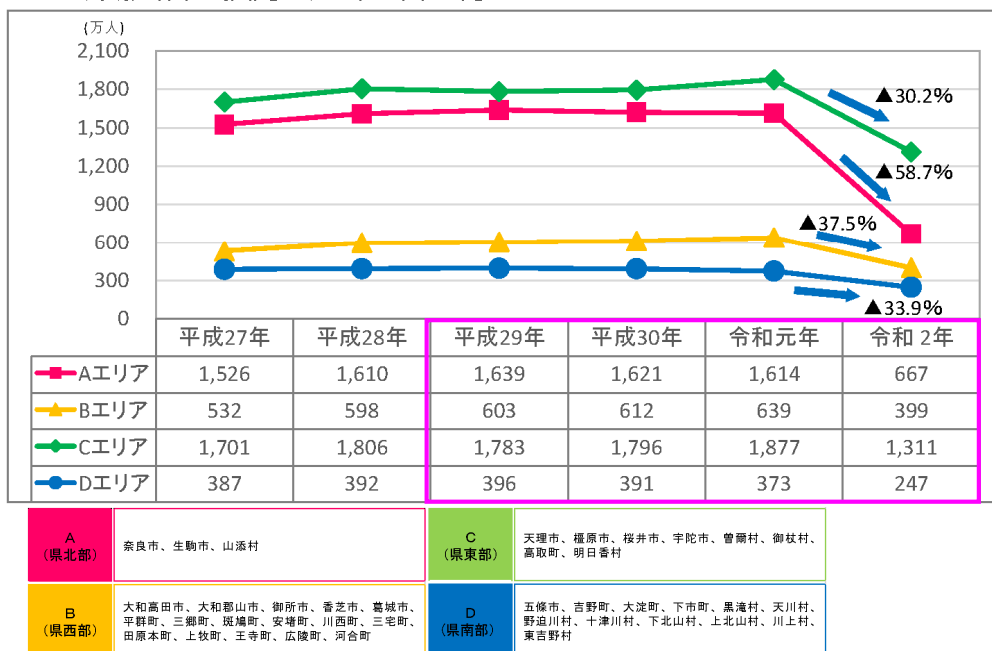


図 7.5-4 奈良県エリア別観光客数の推移（平成 27～令和 2 年）

【出典：「奈良県観光客動態調査報告書 令和 2 年」（奈良県地域振興部文化観光局観光振興課）】

7.5.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

(1) イベントの実施状況

布目ダム周辺では、ダムやダム湖、湖周道路等を活用し、布目湖畔サイクルフェスタ、ほんなら釣り祭（布目湖釣り大会）、山添ふれあいまつり、マラソン大会等の様々なイベントが開催されている。令和2年度および令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催が予定されていたイベントの多くが中止されている。

表 7.5-2(1) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況（平成29年度）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容
6月11日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約150名 (6月、11月合計)	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
7月15日	アメリカナマス釣り大会	布目湖周辺	NPO法人 日本へらぶなクラブ	約50名	特定外来生物チャネルキャットフィッシュの実態踏査を兼ねた釣りイベントを実施した。
7月23日	布目ダム見学会	布目ダム管理所 ダム右岸	水資源機構木津川 ダム総合管理所 布目ダム管理所	約500名	上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と、身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを実施した。
8月20日	ツアー・オブ・奈良・まほろば2017	布目ダム周辺	ツアー・オブ・奈良・まほろば実行委員会	約100名	奈良県東南部の風光明媚に恵まれたコースを楽しんでいただく事を目的としたサイクリングイベントを実施した。
10月1日	第38回ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、 日本釣り振興、 布目川漁業協同組合、 W・F・W japan	約400名	子供から大人を対象として、釣り大会を通じ地域の活性化と、ダム湖の自然を利用した交流を目的として、釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、鮎の塩焼き、パザーなどを開催した。
10月15日	第26回布目湖畔サイクルフェスタ2017	布目ダム周辺	(財)日本サイクリング協会	40名	奈良の東大寺・南大門～布目湖畔コース(約45km)や、近隣の土津ダム～布目ダムコース(約15km)などを走行した。 山添村の協賛もあり、ダム見学会も同時に開催し、布目ダムについて理解を深めた。
11月3日	山添ふれあいまつり2017	山添ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	約4000名	多目的広場を利用し「なんでも市」を実施し、一般の方や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数の手作り商品を中心として出展した。布目ダムでは、職員によるダムの紹介・宣伝、資料配付、子供が楽しめる催しなどを行った。
11月12日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約150名 (6月、11月合計)	ダム湖周辺に滞在している住民や山添村の人々による地域の環境保全・維持の増進として、アウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に、水辺や周辺道路、公園等のゴミ拾いや除草を実施した。
12月3日	第27回やまぞえ布目ダムマラソン	布目ダム湖周辺 (マラソン:桐山～大橋～腰越～ダム堤体折返しコース、 駅伝:桐山～大橋～釜淵橋 湖周コース)	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約820名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で、参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各道府県から集まり小学生以上を対象としている。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催した。

【出典:布目ダム管理年報、水源地域ビジョン実行連絡会資料、布目ダムHP】

表 7.5-2(2) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況（平成30年度）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容
6月3日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約150名 (6月、11月合計)	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
7月14日	第3回アメリカナマズ釣り大会	布目湖周辺	NPO法人 日本へらぶなクラブ	約150名	特定外来生物チャネルキャットフィッシュの実態踏査を兼ねた釣りイベントを実施した。
中止	布目ダム見学会	布目ダム管理所 ダム右岸	水資源機構木津川 ダム総合管理所 布目ダム管理所		7月22日(日)行う予定であったが、梅雨明けから続く酷暑予報のなか、来場者とスタッフの安全を最優先に考えて中止とした。
9月24日	ツアー・オブ・奈良・まほろば2018	布目ダム周辺	ツアー・オブ・奈良・まほろば実行委員会	多数	奈良県東南部の風光明媚に恵まれたコースを楽しんでいただく事を目的としたサイクリングイベント
9月29日	第39回ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、 日本釣り振興、 布目川漁業協同組合、 W・F・W japan	約150名	子供から大人を対象として、釣り大会を通じ地域の活性化と、ダム湖の自然を利用した交流を目的として、釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、鮎の塩焼き、バザーなどを開催した。
中止	第27回布目湖畔サイクルフェスタ	布目ダム周辺	奈良県サイクリング協会	-	平成30年10月14日に開催する予定であったが中止とした。 布目湖畔サイクルフェスタは、当初の目的を達成したとの判断から大会を終了した。
11月3日	山添ふれあいまつり2018	山添ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	約150名	多目的広場を利用し「なんでも市」を実施し、一般の方や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数の手作り商品を中心として出展した。布目ダムでは、職員によるダムの紹介・宣伝、資料配付、子供が楽しめる催しなどを行った。
11月4日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約150名 (6月、11月合計)	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
12月2日	第28回やまぞえ布目ダムマラソン	布目ダム湖周辺 (マラソン: 桐山～大橋～腰越～ダム堤体折返しコース、 駅伝: 桐山～大橋～釜淵橋 湖周コース)	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約150名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で、参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象としている。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催した。

【出典:布目ダム管理年報、水源地域ビジョン実行連絡会資料、布目ダム HP】

表 7.5-2(3) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況（令和元年度）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容
6月15日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約130名 (6月、11月合計)	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
7月14日	第4回アメリカナマズ釣り大会	布目湖周辺	布目川漁業協同組合、奈良県釣りインストラクター連絡機構(JOFI奈良)	約80名	特定外来生物チャネルキャットフィッシュの実態踏査を兼ねた釣りイベントを実施した。
7月21日	布目ダム見学会	布目ダム管理所 ダム右岸	水資源機構木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所	約300名	上下流の交流を繋ぎ、ダムの役割と重要性の認識と、身近なダムとして親しんでいただくため、多くの人々の参加による分かりやすいダムの役割や施設案内と催しを実施した。
10月6日	第40回ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)	布目湖周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・WJapan	約300名	子供から大人を対象として、釣り大会を通じ地域の活性化と、ダム湖の自然を利用した交流を目的として、釣り可能区域における湖面及び湖面広場を利用した、魚の手づかみ、湖面での部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、鮎の塩焼き、バザーなどを開催した。
11月3日	山添ふれあいまつり2019	山添ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	約4000名	多目的広場を利用し「なんでも市」を実施し、一般の方や公共機関が寄り添いふるさとの味や、各種農作物、展示品など多数の手作り商品を中心として出展した。布目ダムでは、職員によるダムの紹介・宣伝、資料配付、子供が楽しめる催しなどを行った。
11月9日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	約130名 (6月、11月合計)	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
12月1日	第29回やまぞえ布目ダムマラソン	布目ダム湖周辺 (マラソン: 桐山～大橋～腰越～ダム堤体折返しコース、駅伝: 桐山～大橋～釜淵橋湖周コース)	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	約800名	平成3年ダム完成に伴い、山添村の自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知っていただくとともに、山添村の活性化を図ることで毎年実施されているマラソン大会で、参加者は村内、県民以外に広く近畿及び各都道府県から集まり小学生以上を対象としている。また、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを目的として開催した。

【出典:布目ダム管理年報、水源地域ビジョン実行連絡会資料、布目ダムHP】

表 7.5-2(4) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況（令和2年度）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容
11月7日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	66名	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
中止	第5回アメリカナマズ釣り大会	布目湖周辺	布目川漁業協同組合、奈良県釣りインストラクター連絡機構(JOFI奈良)	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	東山地区夏まつり	布目ダム周辺	山添村	-	例年8月中旬に開催されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	ツアー・オブ・奈良・まほろば	布目ダム周辺	ツアー・オブ・奈良・まほろば実行委員会	-	8月22日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	布目ダム見学会	布目ダム管理所 ダム右岸	水資源機構木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	ほんなら釣り祭(布目湖釣大会)	布目ダム周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W japan	-	10月4日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	山添ふれあいまつり	山添ふるさとセンター	山添村まつり実行委員会	-	11月3日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	布目ダムマラソン大会	布目ダム周辺	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	-	12月6日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
2月21日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目川	布目ダム周辺地域開発協会		役員により2月21日に実施した。

【出典:布目ダム管理年報、水源地域ビジョン実行連絡会資料、布目ダムHP】

表 7.5-2(5) 布目ダム周辺のイベント等の開催状況（令和3年度）

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容
6月19日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	48名	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
11月6日	布目ダム周辺クリーンキャンペーン	布目ダム周辺	布目ダム周辺地域開発協会	68名	ダム湖周辺に滞在している住民や、山添村の人々により地域の環境保全、維持の増進として水辺、周辺道路、公園等のゴミ拾や除草を行いアウトドアを楽しむ人々への配慮や、自然豊かな里を守ることを目的に実施した。
中止	東山地区夏まつり	布目ダム周辺	山添村	-	例年8月中旬に開催されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	ツアー・オブ・奈良・まほろば	布目ダム周辺	ツアー・オブ・奈良・まほろば実行委員会	-	8月21日～22日に開催予定であったが、新型コロナ感染症拡大防止のため中止した。
中止	ほんなら釣り祭(布目湖釣大会)	布目ダム周辺	布目釣り大会実行委員会、日本釣り振興、布目川漁業協同組合、W・F・W japan	-	例年10月初旬に開催されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
中止	布目ダムマラソン大会	布目ダム周辺	やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止、内容を変更して「やまぞえ布目ダムオンラインマラソン大会」を開催した。

【出典:布目ダム管理年報、水源地域ビジョン実行連絡会資料、布目ダムHP】

①布目湖畔サイクルフェスタ

布目湖完成を記念してスタートした、奈良県サイクリング協会主催のサイクリング大会で、平成4年から始まり、家族が参加できるものとしては、県下最大のサイクルイベントで、布目ダム貯水池周辺を周回コースとして実施されている。また、平成22年度よりダム見学会も同時に開催している。平成30年に当初の目的を達成したとの判断から大会は終了している。



②ツアー・オブ・奈良・まほろば

チームで自由にポイントを巡りながら奈良県南部東部の自然や歴史を楽しんでもらうサイクリングイベントである。奈良県の東部・南部の振興と、奈良県の自転車の魅力を伝える目的で平成25年から開催されている。



③ほんなら釣り祭(布目湖釣り大会)

湖面及び湖面広場を利用した、魚のつかみ取り、部門別(コイ、フナ、ニジマス)釣り大会、バザーなどを行う「ほんなら釣り祭り」が実施されている。子供から大人を対象とし、釣り大会を通じて地域の活性化に取り組んでおり、令和元年に第40回が開催された。



④山添ふれあいまつり

山添村では、山添の「ふるさと」を知ってもらい、地域活性化を図ることを目的に、住民や公共機関による「山添ふれあいまつり」を毎年11月に開催している。まつりでは、ふるさとの味や地元農作物が集う「なんでも市」やリサイクル品販売のほか、各種催しを実施されている。こうした機会を利用し、布目ダムではPR活動を行っている。



広報ブース(令和元年)



会場の状況(令和元年)

⑤やまぞえ布目ダムマラソン大会

平成3年ダム完成を期に、自然に溶け込んだダム湖畔の美しさを知ってもらうとともに、ランナー同士の交流や村民とのふれ合いを通じて山添村の活性化を図ることを目的に毎年実施されており、参加者は村内、県内のみならず大阪、京都などからも参加者が集まっている。令和元年で29回目を迎えたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、令和2年は開催を中止、令和3年は「やまぞえ布目ダムオンラインマラソン大会」が開催された。



スタート地点の状況(令和元年)



大会の状況(令和元年)

⑥親子ダム見学会

奈良県との連携により、8月1日～7日の「水の週間」にあわせてダム施設見学会を開催しており、普段は入れないダムの中の見学を実施している。平成30年は48名が参加した。



(2) イベント型の特定外来生物種対策

布目ダムでは、特定外来生物種対策として、平成 28 年より、アメリカナマズ（チャネルキャットフィッシュ）を「知る・釣る・食べる」をテーマとした釣り大会イベント（釣獲調査）を実施している。

第4回 アメリカナマズ釣り大会 in 布目湖

チャネルキャットフィッシュ 釣獲調査 vol.4

1匹長寸勝負!

7/14 (日) 参加者募集中!

「アメナマ」を知る・釣る・食べる!

布目湖で繁殖するチャネルキャットフィッシュ(通称・アメリカナマズ)。この外来魚は食欲旺盛で繁殖力が強く、生態系への影響が心配されています。今の最優先課題は「これ以上、生息範囲を広げないこと」です。そのため多くの方にアメナマのことを知ってもらうこと、繁殖調査を目的とした釣り大会を開催します。食べて美味しく、釣って楽しいアメリカナマズを釣ってみたいですか?

釣り大会 開催要項

- ◎会場：布目湖 湖山さき広場
- ◎参加費：500円(中学生以下は200円) ※見学は無料
- ◎対象魚：チャネルキャットフィッシュ(通称・アメリカナマズ)
- ◎釣りルール：1匹の長寸で勝負(学生証・学生・釣り等、釣り方は問いません)
- ※当日は虫除け剤等の使用、履服、調理イベントの観覧は完了します。
- ※当日は釣獲したアメナマは「釣獲調査」のために回収させていただきます。

受付 7:00~7:15(湖山さき広場)
ミニデモン 7:15~7:30
観戦 7:30~11:30
終了・集計 10:30~12:00
表彰式 12:30~13:00

料理自慢大募集! Cookingイベント開催!
 『アメナマ』を美味しく食べよう!
 10:00~12:30 観覧会12:00~13:00
 会場：湖山さき広場

申込方法 だたでも参加OK!ただし、中学生以下は保護者同伴でご参加下さい。下記の参加申し込み用紙に必要事項を記入し、当日会場までお持ちください。必ず事務局で受付担当者様へお渡しをお願いします。お申し込みの受付締め切りは「参加申し込み用紙」に記載のとおりです。

「アメリカナマズ釣り大会 in 布目湖」参加申し込み用紙

総参加人数	名	氏名	年齢	性別	このイベントを何で知りましたか?
代表者氏名	(年齢 年齢)	氏名	年齢	性別	<input type="checkbox"/> チラシ・ポスター
代表者住所	□□□-□□□□	氏名	年齢	性別	<input type="checkbox"/> SNS
TEL	携帯	氏名	年齢	性別	<input type="checkbox"/> 口コミ
		氏名	年齢	性別	<input type="checkbox"/> その他

アメリカナマズ釣り大会事務局
 (奈良県約リストラクター連絡機構内)

http://www.nhc27.jp
 TEL:090-1124-4602(担当迄) Mail:narajof@yahoo.co.jp

釣り大会開催案内チラシ（令和元年）



釣り大会の状況（令和元年）

(3) ダムカードの配布

国土交通省と独立行政法人水資源機構の管理するダムでは、平成19年よりカードの大きさや掲載する情報項目などを全国で統一した「ダムカード」を作成し、イベント参加者やダム来訪者に配布し、ダムへの関心や興味を持ってもらう取り組みを行っている。

布目ダムのダムカード配布状況を図7.5-5に示す。配布枚数は令和元年までは増加傾向にあり、ダムおよびダムカードへの関心が高くなっていることが伺える。令和元年には「天皇陛下御在位三十年記念ダムカード」を配布、配布枚数は過去最多を記録した。令和2年4月から10月は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から配布を一時的に休止した。

なお、布目ダムでは、ダムカード収集のために訪れた方に承諾を得て、ホームページへの掲載を行っている。

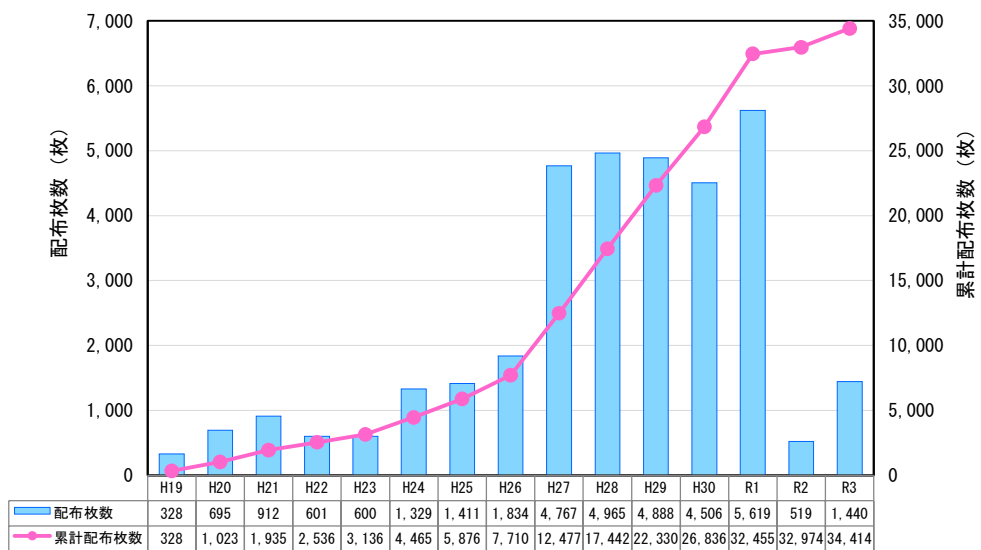


図 7.5-5 ダムカード配布枚数の推移

(4) 布目ダムが描かれた郵便受付印の運用

布目ダムの副ダム湖畔にある山添村東山郵便局の郵便受付印に、布目ダムが描かれたデザインが採用されている（布目ダム管理開始（平成4年4月1日）から運用されている）。



7.6 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

7.6.1 ダム湖利用実態調査

令和元年度に実施した河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）の調査結果は図7.6-1、図7.6-2に示すとおりである。

河川水辺の国勢調査（年間7日間のダム湖利用実態調査）から年間利用者数を推計すると、布目ダムへの来訪者は、令和元年度には約7.0万人、至近10ヶ年平均では約8.8万人と推定される。

利用形態としては、「釣り」や「散策」、「野外活動」が多く、特に「釣り」が6割以上を占めているのが布目ダムの特徴である。

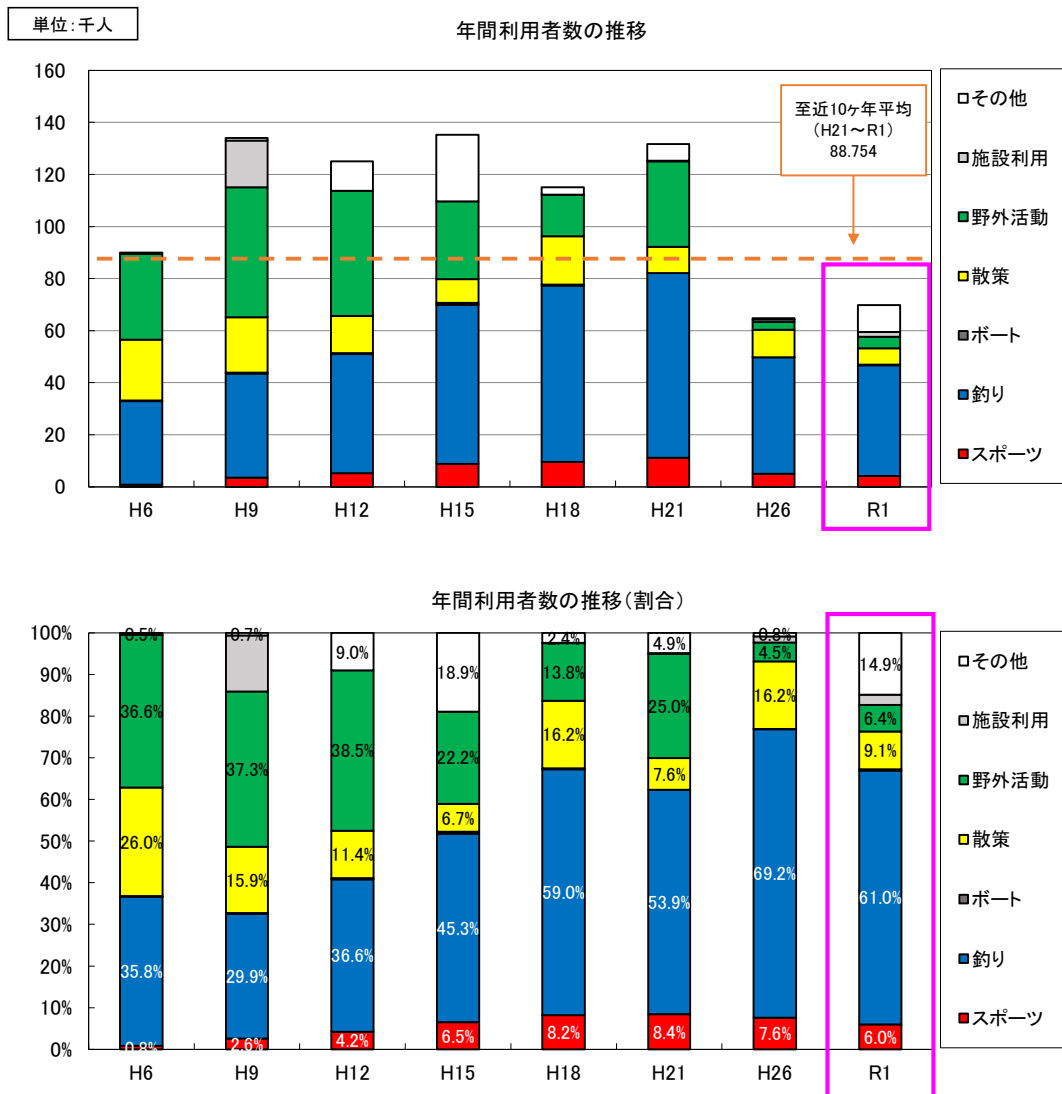


図 7.6-1 布目ダムの利用者の状況（令和元年度）

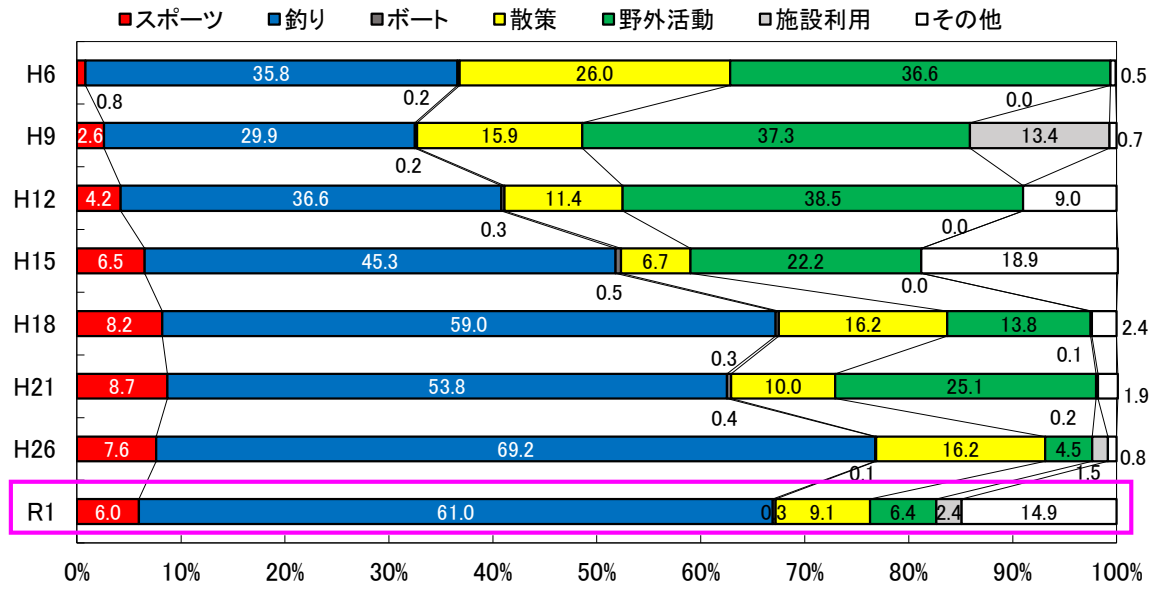


図 7.6-2 利用形態別利用者数の割合の推移（令和元年度）

【参考：ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1.2 調査項目

ダム湖利用実態調査では、下記の4項目について調査を実施した。

表V.1.1 調査項目、目的及び作成する様式

用途	調査項目	目的	作成する様式
年間利用者数の推計に利用	利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集	様式-3 利用者カウント調査票
			様式-1 ブロック区分調査票 様式-2 ブロック区分施設位置概要図
	イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況及び参加人数の把握	様式-6 イベント調査票
利用特性の分析に利用	利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握及び年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集	様式-5 利用者アンケート調査票
	施設利用者数調査	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	様式-7 施設別日別利用者集計表

1.3 調査実施時期

ダム湖利用実態調査は、原則として下記の日程で実施した。

表V.1.2 調査項目別調査実施時期

調査項目	調査実施日等
利用者カウント調査	表V.1.3に示す調査実施日（合計7日間）において実施した。
イベント調査	平成26年3月1日から平成27年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施した。
利用者アンケート調査	表V.1.3に示す調査実施日（合計7日間）において実施した。
施設利用者数調査	平成26年3月1日から平成27年2月28日までの1年間において実施した。

表V.1.3 調査実施日一覧

番号	季節区分	曜日区分	年月日等	備考
①	春季	休日	平成26年4月29日（火）	祭日 昭和の日
②			平成26年5月5日（月）	祭日 こどもの日
③	夏季	平日	平成26年5月19日（月）	
④		休日	平成26年7月27日（日）	
⑤		平日	平成26年7月28日（月）	
⑥	秋季	休日	平成26年11月3日（月）	祭日 文化の日
⑦	冬季	休日	平成27年1月12日（月）	祭日 成人の日

（注）ただし、調査実施日が以下の条件に該当する場合は、調査実施日と同じ曜日区分（休日、土曜日、平日）で最も直近の日に変更した。

- ① イベント開催日（参加人数100人以上が目安）と重なった場合
- ② 悪天候の場合
- ③ 調査対象区域に含まれる施設の休館日と重なった場合

1.4 調査区域

調査区域は、河川区域のダム管理区間を基本としているが、河川区域外にあってもダム湖と隣接して一体となった利用が図られている施設等がある場合は、これを含めて調査した。

2. 調査方法

2.1 利用者カウント調査

調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。利用者数は、調査区域内に設定したブロック区分（次項参照）毎に調査を行い、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数を把握した。

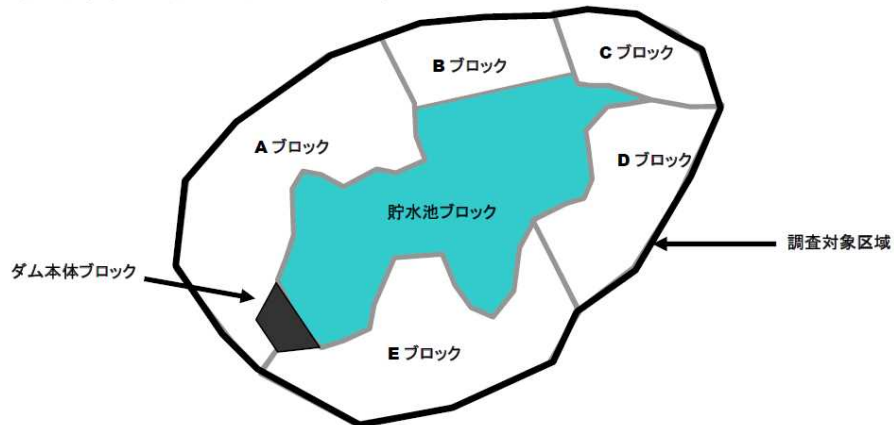
なお、具体的な調査方法は以下のとおりである。

- ① 各ダム湖の周辺を自然的利用、施設利用、湖面利用の利用内容で数ブロックに分割する。
- ② 各ブロックにおいて、日の出から日没までの間を2時間毎に利用数の観測を行う。
- ③ 各調査時刻における観測値の合計を1日の利用者数とみなす。

（ブロック区分の考え方）

ブロック区分とは、利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位である。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割することにより設定する。

なお、設定したブロックにおける環境整備の状況等は、ブロック区分調査票（様式1）・ブロック区分施設位置図（様式2）に整理した。



※過去にダム湖利用実態調査を実施している場合は、調査の継続性を維持するため、過去のブロック区分を踏襲するよう配慮した。

図V.2.1 ブロック区分のイメージ

（利用者カウント調査結果の整理）

カウント調査の結果は、様式3及び4に整理した。なお、調査に用いた利用区分は表V.2.1のとおりである。

表V.2.1 利用者カウント調査に用いた利用区分

利用区分		対象とする利用	
陸上利用	散策、休息、花見等	観光・旅行、山菜とり、花見・紅葉・新緑見物、散策、遠足・ピクニック、休憩・トイレ利用 等	
	陸上スポーツ	テニス、サッカー、(ミニ) ゴルフ、 マラソン・ジョギング、ゲートボール、サイクリング、野球、ソフトボール、その他の陸上スポーツ 等	
	その他	野外活動	キャンプ、写真撮影、写生、野外バーベキュー、昆虫採集、バードウォッチング、その他のアウトドア活動 等
		各種施設利用	レストラン、売店、ホテル、温泉、資料館、記念館、有料遊戯施設、〇〇センター（ミニSL、ゴーカート等） 等
湖面利用	釣り	ボート利用	ボートに乗って釣り糸を垂らしている人
		湖岸	湖岸で釣り糸を垂らしている人
	遊覧	手こぎボート、サイクルボート、遊覧船	
	水上スポーツ	ヨット、水上スキー、ウインドサーフィン、漕艇、カヌー、その他の水上スポーツ	
	その他	水泳、水遊び、その他の湖面利用	

*イベントは、その内容によって利用区分することとし、例えばスポーツ大会が野球大会、カヌー大会のように他の利用区分にまたがる場合は、野球を陸上スポーツ、カヌーを水上スポーツとする。

2.2 イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより実施した。調査対象とするイベント等は表V.2.2のとおりとした。調査結果は、様式-6に整理した。

表V.2.2 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	平成26年3月から平成27年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時間帯	対象とする時間帯は特に制限しなかった。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種類等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しなかった。

2.3 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して様式-5を用いて直接質問し、回答を得ることにより実施した。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とした。必要なアンケート対象者数(最小サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

2.4 施設利用者数調査

本調査は、ダム湖及び周辺の施設における、平成26年3月1日から平成27年2月28日までの日別利用者数の実測値について、ダム管理者や施設の運営主体等から聞き取り調査を行うことにより実施した。

3. 年間利用者数の推計方法

平成26年3月から平成27年2月にかけて各季節別に実施した合計7回の利用者カウント調査結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間のダム湖利用者数の推計は、季節、休日と平日等の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を1日あたりの原単位とし、各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより行った(次頁 図V.3.1参照)。

① 各季節を以下の期間とし、それぞれの曜日区分の日数を求めた。

春季：3/1～5/31 (休日18日、土曜日13日、平日61日)

夏季：6/1～8/31 (休日15日、土曜日13日、平日64日)

秋季：9/1～11/30 (休日18日、土曜日13日、平日60日)

冬季：12/1～2/28 (休日16日、土曜日13日、平日61日)

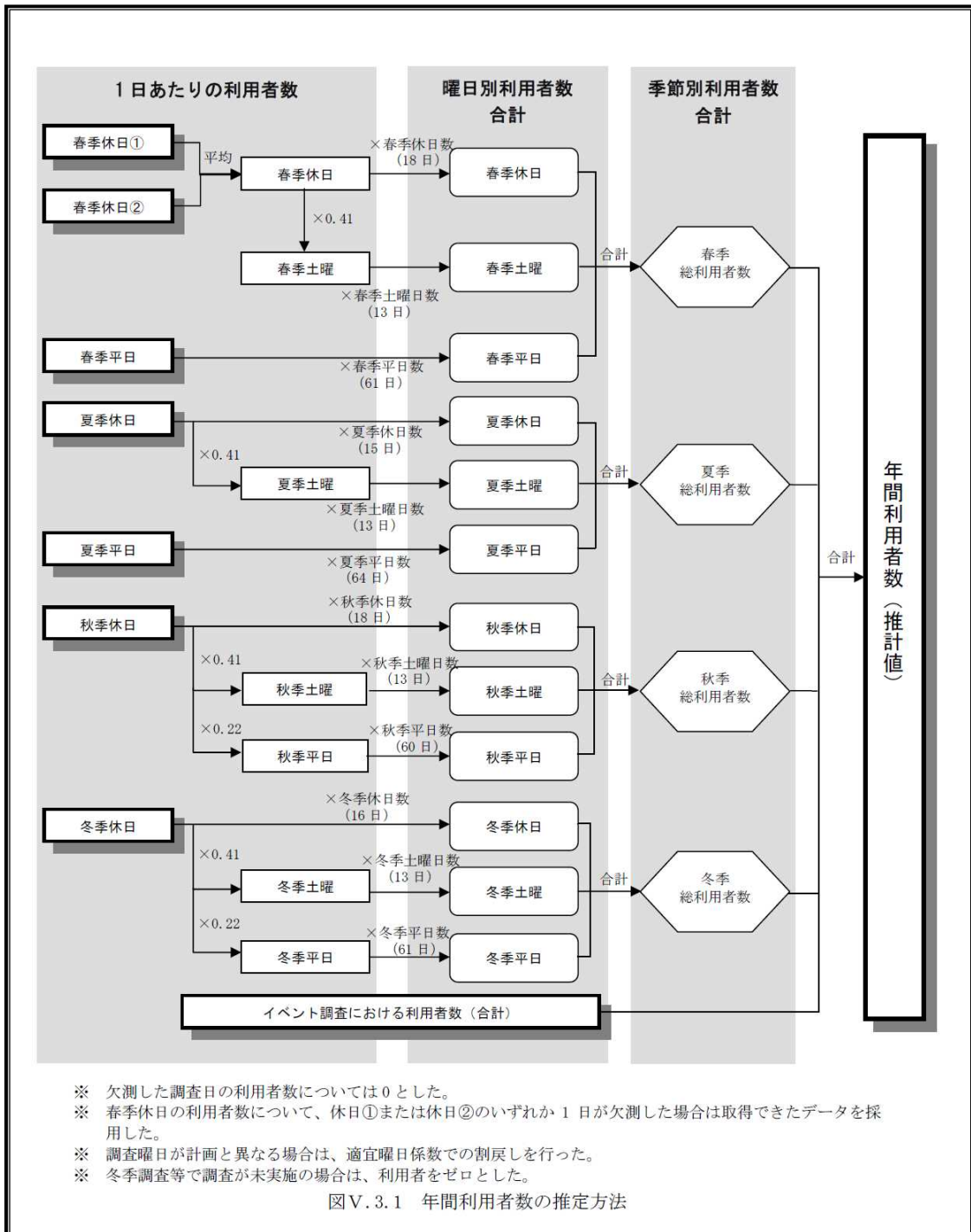
② 各季節の土曜日及び秋季・冬季の平日については実測値がないため、各季の実測値に曜日係数(平成18年度に算出)を乗ずることにより(土曜日=0.41×休日、平日=0.22×休日)、1日あたりの利用者数を求めた。

③ 曜日係数は、平成18年度に全国の代表9ダムにおいて、平日・土曜日・休日に分けて実施した利用者カウント調査結果より算出したものである。

・土曜日係数=土曜日利用者数/休日利用者数=7,718人/18,847人=0.41

・平日係数 =平日利用者数/休日利用者数 =4,085人/18,847人=0.22

・代表ダムは、金山ダム、宮ヶ瀬ダム、三国川ダム、岩屋ダム、小渋ダム、美和ダム、弥栄ダム、野村ダム、鶴田ダムの9ダム



図V.3.1 年間利用者数の推定方法

【出典：平成26年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕（ダム湖利用実態調査編）】

7.6.2 利用者の特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査結果から、布目ダム利用者の特性を以下に整理した。

(1) アンケートの回答者数

平成26年度：127人 令和元年度：169人

(2) 利用者の属性

利用者層は、令和元年度は40～60歳代が多く約6割を占めている。その他の年代の利用者も適度にあり、幅広い年代に利用されている。

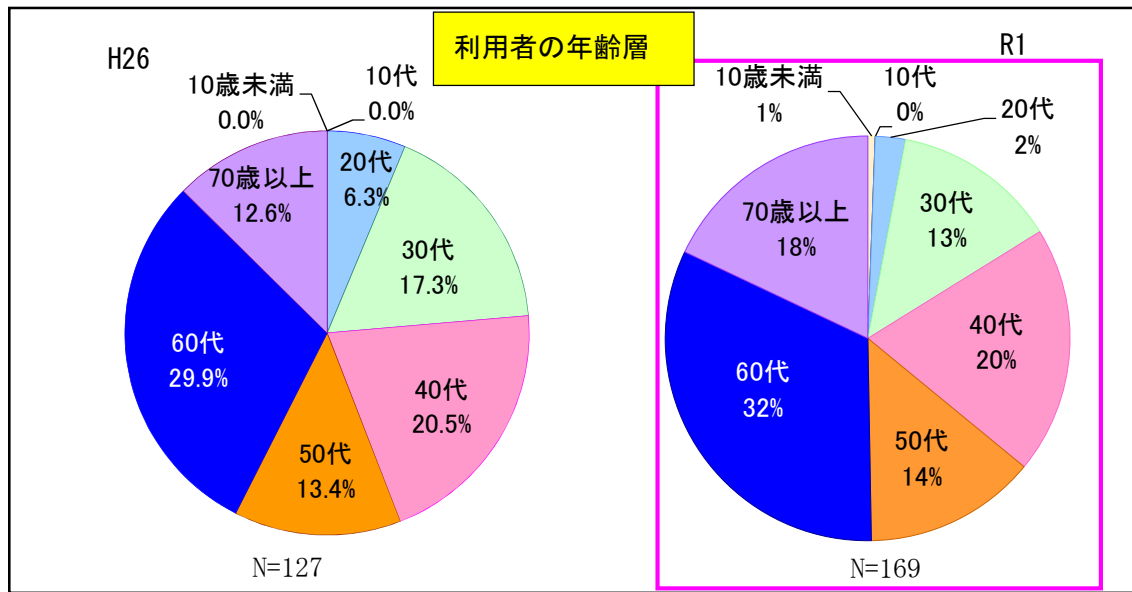


図 7.6-3 利用者の年齢層

(3) 利用者の居住地等

来訪者の居住地は、令和元年度は奈良県、大阪府、京都府が多く約8割を占め、奈良県が最も多い。近畿圏外からの来訪者もみられる。

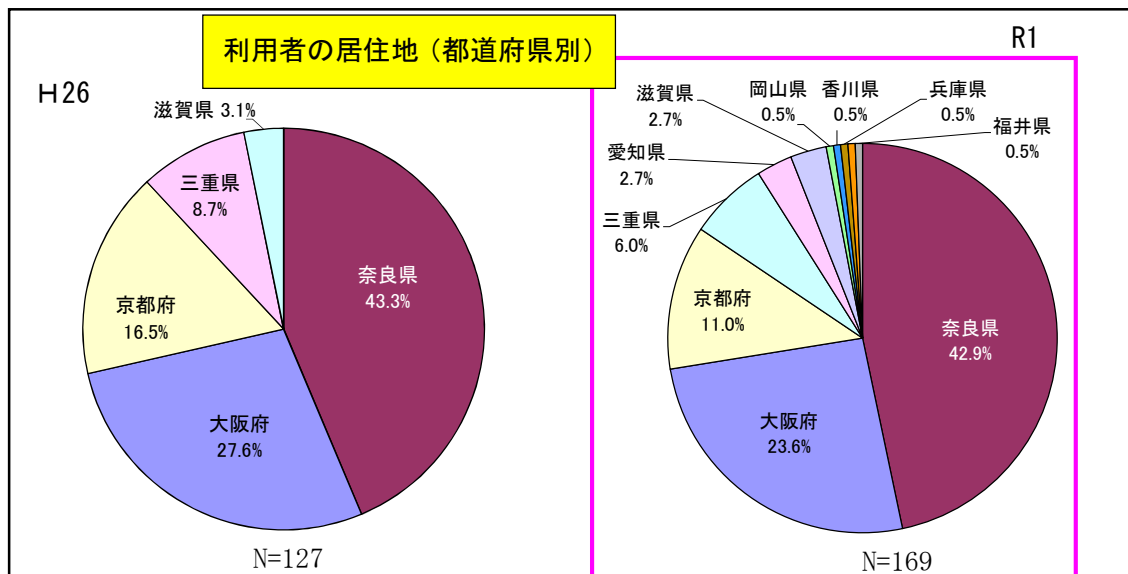


図 7.6-4 利用者の居住地（都道府県別）

(4) 来訪経験

布目ダムを訪れた利用者のうち、約9割をリピーターが占めている。

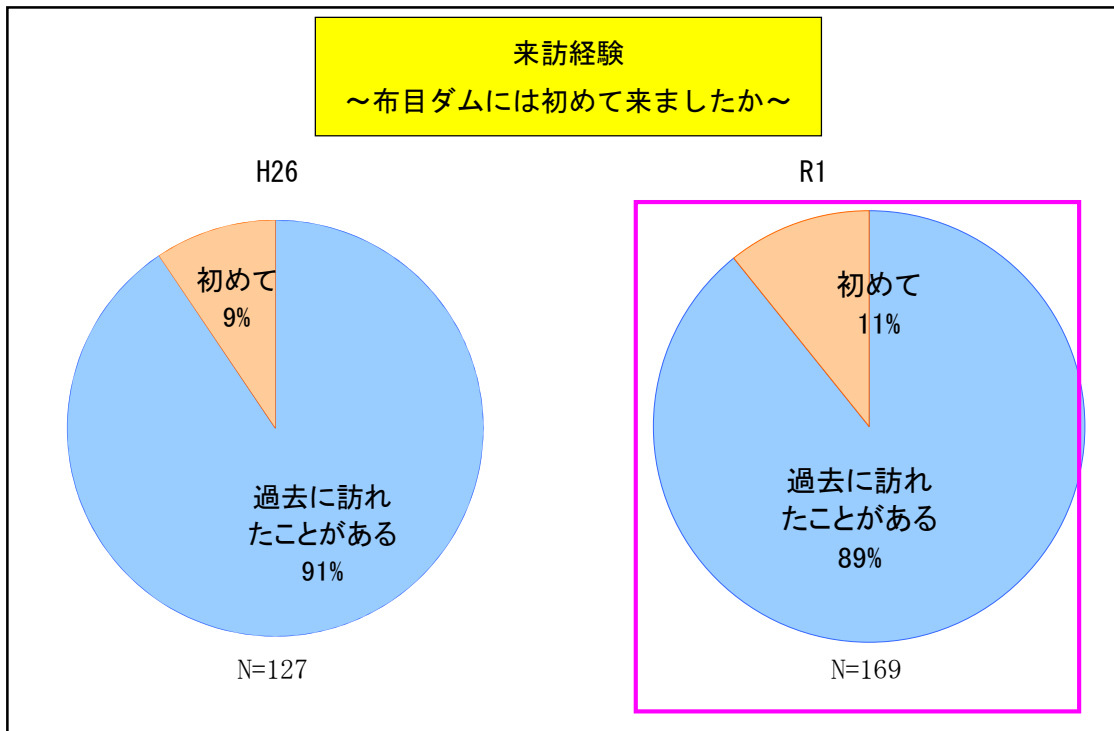


図 7.6-5 利用者の来訪経験

(5) 同伴者

令和元年度は単独で来訪する利用者が多く約5割を占め、家族、単独、友人等で全体の約9割以上を占めている。平成26年度同様に団体ツアー等での来訪は少ない。

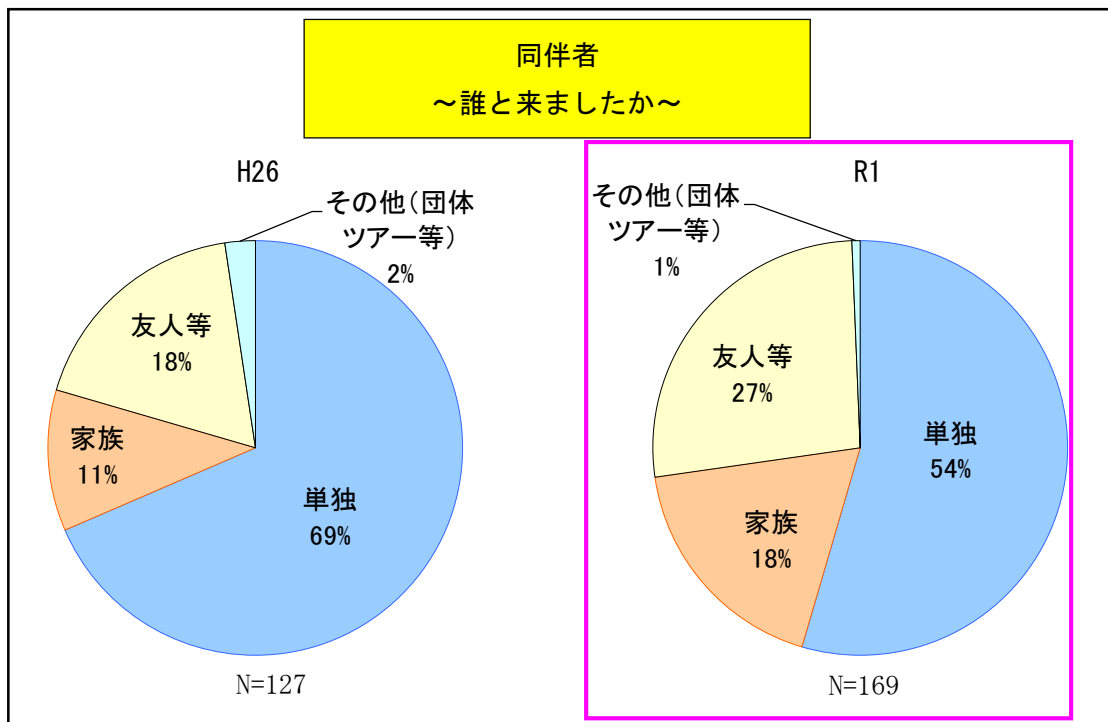


図 7.6-6 利用者の同伴者

(6) 来訪目的

布目ダムを訪れた主な目的は、令和元年度調査では、釣りや散策等の「レジャー」が最も多く、次いでサイクリングやマラソン・ジョギング等の「スポーツ」となっている。

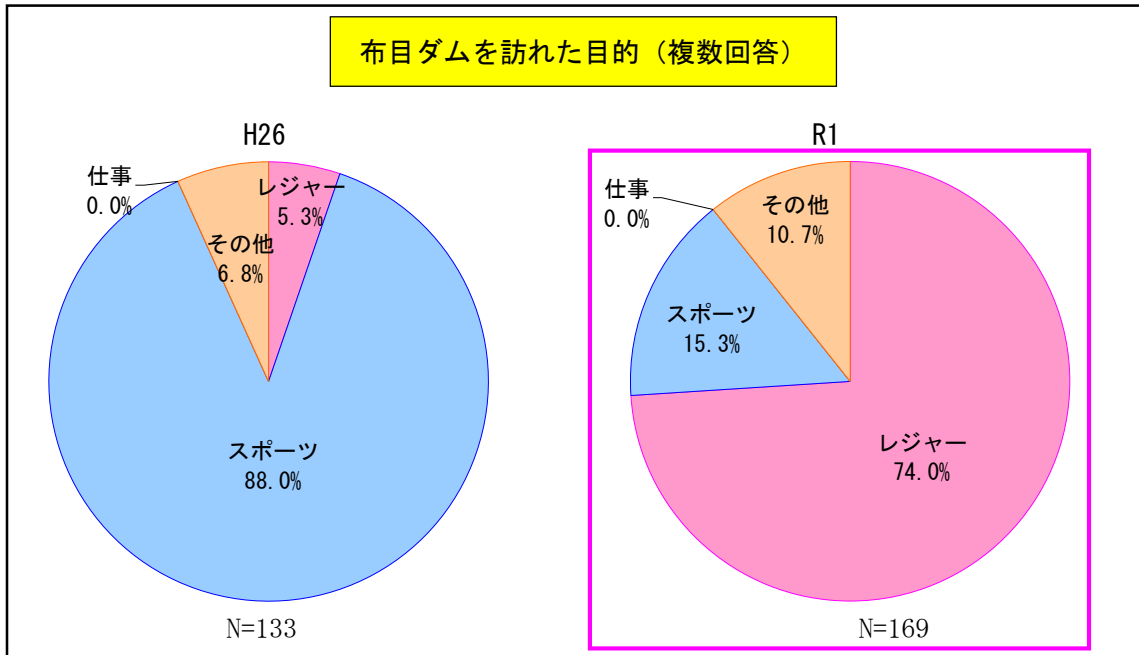


図 7.6-7 来訪目的

(7) 利用者の感想

布目ダムを利用した人の感想として、「満足している」、「まあ満足している」と回答した人の割合は、令和元年度は約9割を占めている。

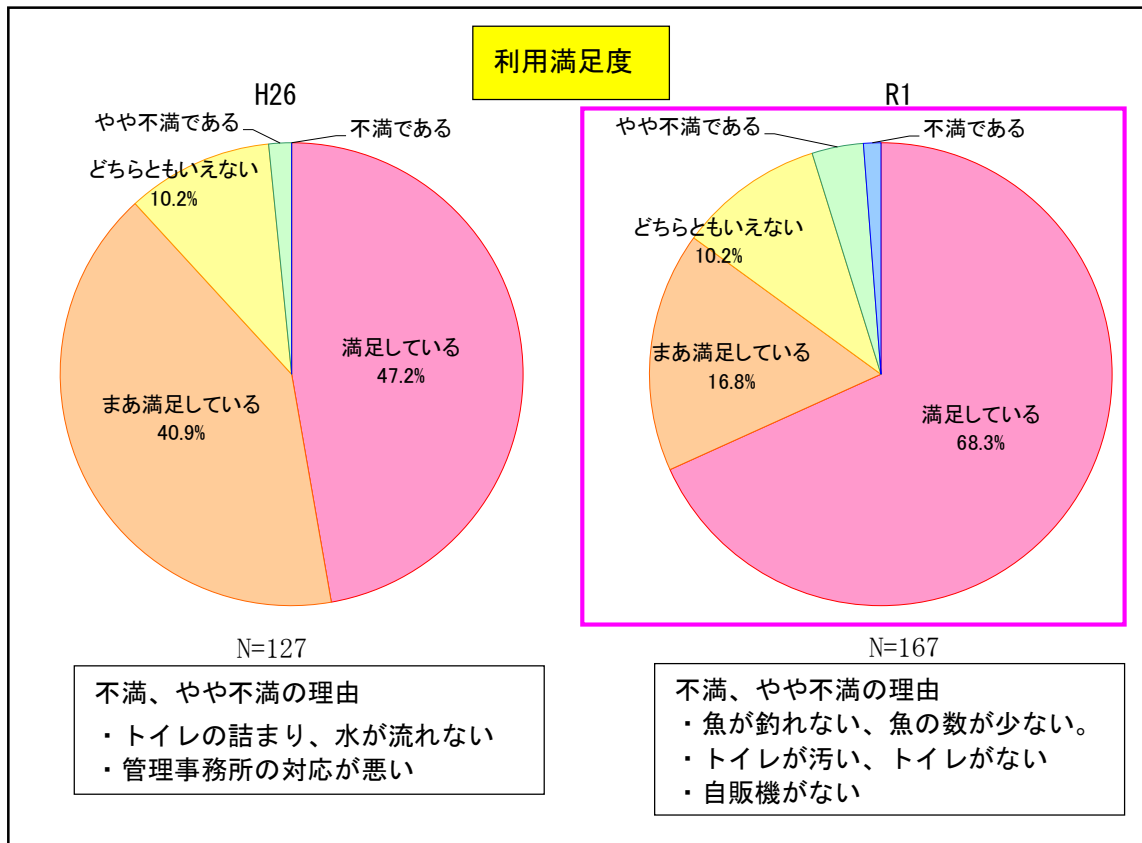


図 7.6-8 利用者の感想

7.7 その他関連事項の整理

7.7.1 大学との共同研究の推進

布目ダムでは、大学と協定を締結し、貯水池及びその周辺をフィールドとした共同研究を進めている。平成 27～30 年度にかけて、大阪電気通信大学と共同で複合型曝気循環装置の最適運用法に関する研究を実施した。

また、平成 27 年度から、布目ダムの底泥利用を利用した効果的なダム管理に向けた取り組みとして、近畿大学と共に、布目ダムの副ダムに堆積した底泥を利用したブルーベリーの試験栽培を行っている。



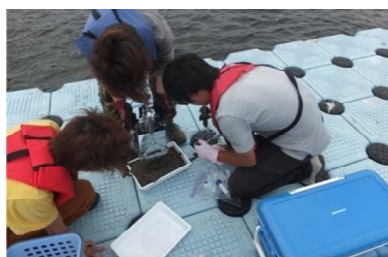
実地調査（微流速計測）



実験データの収集



複合型曝気循環装置の最適運用法に関する研究の対象場所



近大生による底泥採取作業



ブルーベリー生育試験



ブルーベリー生育試験用フィールド設置（マタニ建設発生土受入地）

7.7.2 副ダムにおける湖面利用

布目ダムの副ダムは、水質保全や堆砂対策のほか湖面利用等による水源地域の活性化等を目的としている。副ダムにより創出された水位変動がない湖面周辺には親水公園や浮き栈橋が整備され、多くの釣り客が利用している。湖面では山添村によるカヌー教室も行われている。



副ダム周辺の利活用状況

7.8 まとめ

布目ダムの水源地域動態の評価結果を以下に記す。

<<まとめ>>

- 布目ダム水源地域ビジョンの活動として、様々なイベントなど積極的な地域活性化の取り組みが行われている。
- ダム湖利用実態調査によると、釣り、散策、野外活動などで幅広い年代に利用されており、利用者の満足度は高い。
- 管理開始 30 年を迎え、施設見学や各種イベントを通じて地域との連携が深まり、小学生や一般者の環境学習の場としても確実に定着し、水源地域の活性化に貢献している。
- 令和2年度および令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各種イベントの開催が中止されている。

<<今後の方針>>

- 布目ダム水源地ビジョンの取り組みをダム管理者として積極的に支援するとともに地域と連携した活動を継続かつ発展的に実施していく。
- 地域活動の支援や積極的な広報活動により、地域との連携をより推進していく。

7.9 文献リストの作成

布目ダムの水源地域動態に係わる評価のため、以下の資料を収集整理した。

表 7.9-1 水源地域動態に使用した資料リスト

No	文献・資料名	発行者	発行年月日	備考
7-1	平成 29 年度 布目ダム定期報告書	木津川ダム総合管理所	平成 28 年	
7-2	布目ダム年次報告書	木津川ダム総合管理所		
7-3	布目ダム管理年表	木津川ダム総合管理所		
7-4	布目ダム水源地域ビジョン会議資料	布目ダム水源地域 ビジョン策定会議		
7-5	布目ダム HP	木津川ダム総合管理所		
7-6	高山・布目ダム湖利用実態調査業務	木津川ダム総合管理所	令和 2 年 3 月	
7-7	奈良県観光客動態調査報告書 令和 3 年	奈良県地域振興部文化観光 局観光振興課		

表 7.9-2 水源地域動態に使用したデータ

No	文献・資料名	発行者	発行年月日	備考
7-1	流域人口データ (S55, S60, H17, H22, H27)	国勢調査 (総務省統計局)		
7-2	国土数値情報 土地利用細分メッシュデ ータ 平成 28 年度 土地利用 100mメッ シュデータ	国土交通省 国土政策局		
7-3	平成 28 年全国都道府県市区町村別面積調	国土交通省国土地理院	平成 28 年	
7-4	布目ダム見学者数	布目ダム管理所		
7-5	布目ダムカード配布枚数	布目ダム管理所		